

基本政策 9

人々のつながりが広がる
文化の香りと平和に包まれたまち

目 次

基本政策 9 人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち

9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上	頁
【124】	自治振興事務（地域振興課）・・・・・・・・・・・・・・・・	298
【125】	コミュニティ活動支援事業（地域振興課）・・・・・・・・	300
【126】	地域イベントの開催等事業・・・・・・・・・・・・・・・・	302
【127】	社会貢献活動団体との協働推進事業・・・・・・・・・・	304
【128】	公衆浴場対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	306
【129】	公設浴場管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	308
【130】	区民館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	310
【131】	中央会館「銀座ブロッサム」管理事業・・・・・・・・	312
【132】	セレモニーホール管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	314
【133】	浜町集会施設「浜町メモリアル」管理事業・・・・・	316
【134】	地域コミュニティルーム管理事業（地域振興課）・・	318
【135】	日本橋特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	320
【136】	自治振興事務（日本橋特別出張所）・・・・・・・・	322
【137】	コミュニティ活動支援事業（日本橋特別出張所）・・	324
【138】	地域コミュニティルーム管理事業（日本橋特別出張所）	326
【139】	日本橋公会堂管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	328
【140】	月島特別出張所管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	330
【141】	自治振興事務（月島特別出張所）・・・・・・・・	332
【142】	コミュニティ活動支援事業（月島特別出張所）・・	334
【143】	地域コミュニティルーム管理事業（月島特別出張所）	336
9-2	豊かな心を育む文化活動の振興	
【144】	地域文化活動の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	338
【145】	郷土天文館管理事業・・・・・・・・・・・・・・・・	340
【146】	文化財保護事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	342
9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり	
【147】	地域間交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	344
【148】	平和推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・	346
【149】	国際交流の推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・	348
【150】	「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業・・・・・	350

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2		中 事 業 3	
自治振興事務 （地域振興課）	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会からの各種相談・要望事項を的確に把握し、良好な地域コミュニティの維持形成を図るとともに、区政の普及発展および地域コミュニティの活性化に寄与するため、区が行う各種事務事業の周知や各種調査等を町会・自治会に委託する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

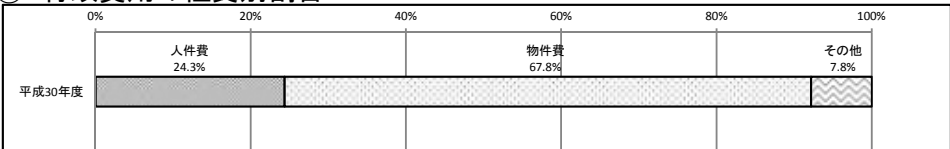
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	15,096,925	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	42,056,767	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	2,777,343	—	—		その他	259,786	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	259,786	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,079,909	—	—	行政収支差額		△61,751,158	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		62,010,944	—	—	通常収支差額		△61,751,158	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△61,751,158	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		59,584,196	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計（一般財源調整後）		△2,166,962	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・コミュニティ推進事務委託 37,027,900円 ・施設管理業務等委託 865,727円	決算額の主な内訳	・地域集会室他 1,950,023円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 827,320円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	その他（行政収入）	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費（町会倉庫負担分） 259,786円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

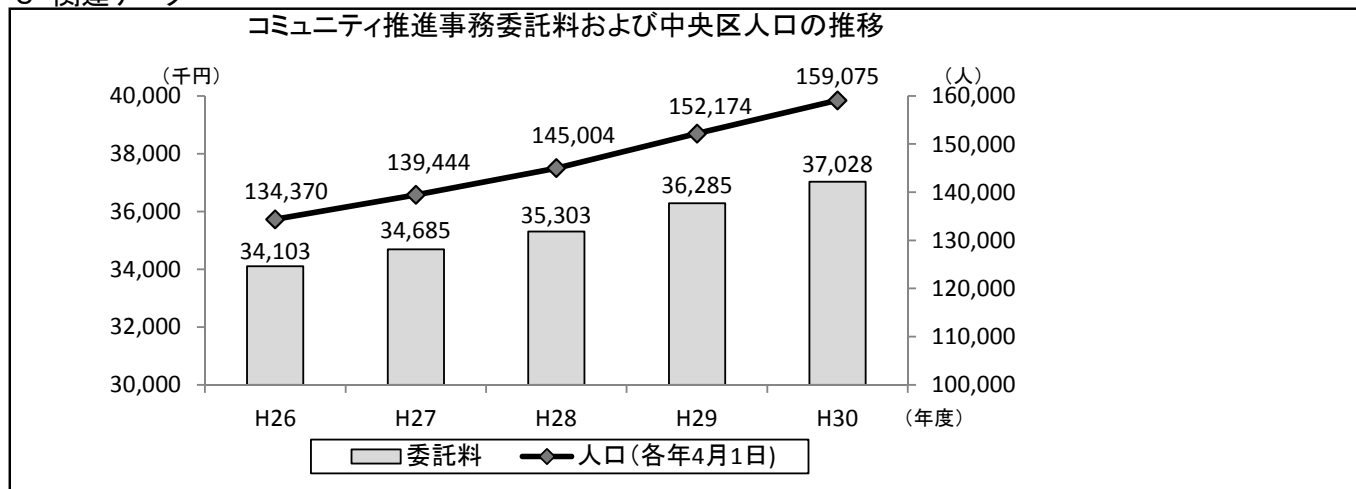
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	878,034	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	1,770,683	—	—	固定負債			
建物	91,603,897	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	15,774,690	—	—
重要物品	1	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	16,652,724	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	76,721,857	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	93,374,581	—	—
資産の部 合計	93,374,581	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・地域集会室他 60,616,992円 ・人形町保育園等複合施設駐輪場棟倉庫 30,986,905円	決算額の 主な内訳	・佃三丁目地域集会室敷地 1,770,683円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目	重要物品	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・軽自動車 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち委託料が90.7%を占めており、今後も人口増加が見込まれる中、より一層地域コミュニティの重要性が高まるとともに、区の事業の普及発展および地域コミュニティの活性化を図るため、コミュニティ推進事務委託料の増加が想定される。

・コミュニティ連絡相談員を通じて町会・自治会とさらなる連携を図ることにより、選手村跡地をはじめとする大規模マンション等における新規団体結成の動向や既存の地域コミュニティとの連携について、町会・自治会の意向を的確に把握し、良好な地域コミュニティの維持形成を支援していく必要がある。

② 今後の方向性

・町会・自治会に対し、コミュニティ推進事務委託をはじめさまざまな機会を捉えて、区の事業を普及発展させ、地域コミュニティを活性化していく。

・コミュニティ連絡相談員が町会・自治会とさらに密接な関係を築くことにより、地域コミュニティに関する動向をよりの確に把握するとともに、新規団体結成時に適切な支援を行うことで既存の地域コミュニティとの連携を強化していく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	コミュニティ施設(町会・自治会館等)の整備費等助成	中 事 業 2	町会・自治会活動支援	中 事 業 3	町会・自治会ネットワークづくり
コミュニティ活動支援事業 (地域振興課)	中 事 業 4	地域手づくりイベント推進助成	中 事 業 5	地域の盆おどりに対する助成	中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・地域コミュニティのさらなる活性化のため、町会・自治会への加入促進を図るチラシの作成や活動を紹介する情報誌の発行等を行うとともに、地域におけるつながりづくりや地域活動の「担い手」を養成するための講座を開催する。 ・各町会・自治会の情報発信および連携を促進し、ネットワークづくりを支援するため「町会・自治会ネット」を運用する。さらに、町会・自治会による「手づくり行事」や「盆踊り大会」の実施を支援するとともに、町会・自治会館等の整備費や賃借料の一部を助成する。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

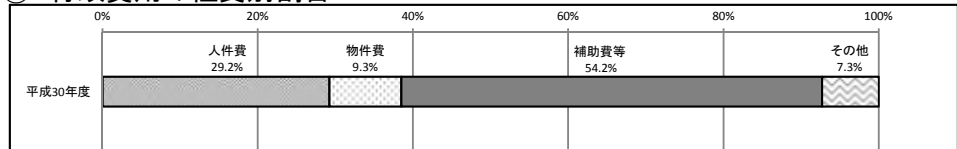
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	12,551,421	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	3,982,536	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	23,278,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	3,139,278	—	—		行政収支差額	△42,951,235	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	42,951,235	—	—		通常収支差額	△42,951,235	—	—
	特別費用	0	—	—		当期収支差額	△42,951,235	—	—
	特別収入	0	—	—		一般財源充当調整	41,954,323	—	—
	特別収支差額	0	—	—		再計(一般財源調整後)	△996,912	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 8,960,000円 ・中央区コミュニティ施設賃借料助成金 6,853,000円 ・地域盆おどり大会助成金 5,700,000円	決算額の主な内訳	・中央区町会・自治会ネットの運営委託 1,220,400円 ・「地域のつながりコミュニティ」担い手養成プログラムの委託 1,116,000円 ・町会等活性化情報誌「こんにちは町会です」発行委託 1,130,976円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



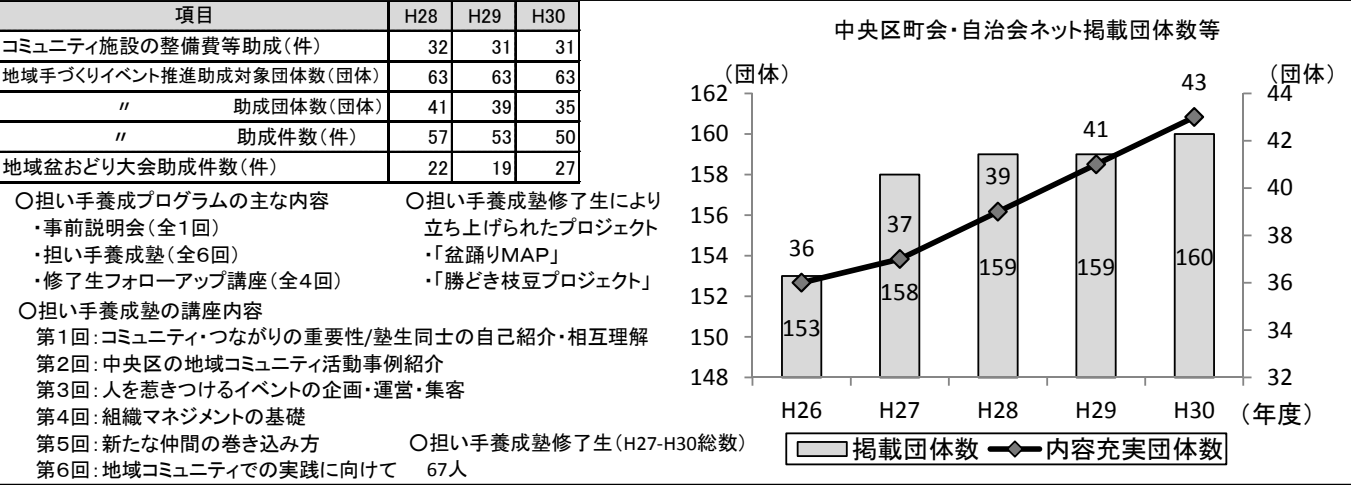
④ 貸借対照表 (単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	725,333	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	13,031,266	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	13,756,599	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△13,756,599	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・行政費用のうち町会・自治会が主体となり地域住民の交流等のために実施するイベントに対する助成経費が20.9%を占めている。

・地域における顔の見えるつながりや生きがいとしての地域活動を学ぶ講座を開催し、不足している地域活動の担い手を発掘・養成することにより、地域コミュニティの課題を主体的に解決することを推進している。こうした中、担い手養成塾修了生同士の交流から、複数のプロジェクトが立ち上がっている。

・各町会・自治会の紹介および活動内容を掲載している「中央区町会・自治会ネット」により、活発な情報発信と町会・自治会同士の連携強化を図っている。また、情報発信手法が多様化する中で「町会・自治会ネット」の内容をさらに充実するため、町会が独自に発信する情報との連携を推進しなければならない。

・町会・自治会が主体となって行う地域の「イベント」や「盆踊り大会」の開催を支援することで、多くの区民が地域でふれあい、交流する契機となっている。

② 今後の方向性

・担い手養成塾を実施し、さまざまな団体と区民の連携を支援するとともに、まちの課題を自ら解決できる修了生を増やしていくことで、「プロアクティブ・コミュニティ」の確立を目指す。また、修了生同士の交流の場の提供や情報提供等のフォローアップを実施していく。

・これまでの伝統的な地域コミュニティのネットワークを日々進歩するインターネットを介したコミュニティにおいても展開し、本区の地域コミュニティがさらに発展するよう、既存の情報発信事業を行うとともに、町会・自治会の青年部に向けた周知活動の実施とSNS等により独自に発信している情報と「町会・自治会ネット」との連携を強化していく。

・人口増加が続く中、愛着が持てるまち、心が通い合うコミュニティを形成するため、引き続き町会・自治会が主催する行事を支援していく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	大江戸まつり盆おどり大会	中事業2	隅田川花火大会	中事業3	区民還暦祝い事業
地域イベントの開催等事業	中事業4	雪まつり	中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・各種地域事業を開催することで、多くの区民がふれあい、交流することにより、ふるさと意識の高揚と地域の活性化を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

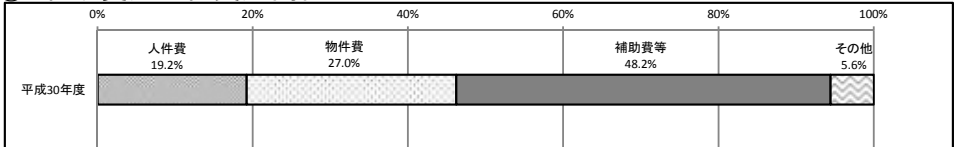
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	18,538,960	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	26,024,507	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	46,521,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,374,247	—	—	行政収支差額		△96,458,714	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		96,458,714	—	—	通常収支差額		△96,458,714	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△96,458,714	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		94,199,508	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		△2,259,206	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・「大江戸まつり盆おどり大会」実施に伴う補助金 42,662,000円 ・「隅田川花火大会」の共催に伴う補助金 2,500,000円	決算額の主な内訳	・「雪まつり」会場設営・進行等業務委託 7,851,600円 ・「区民還暦祝い事業」実施委託 7,408,800円 ・「区民還暦祝い事業」祝い品作製等委託 3,600,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

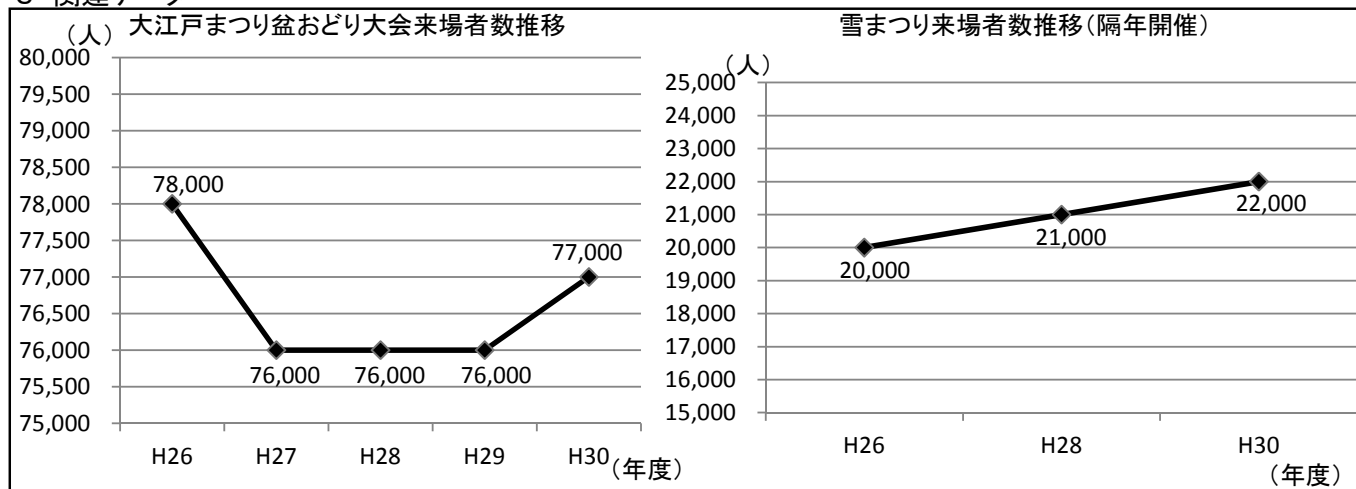
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	1,068,911	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	19,203,970	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	20,272,881	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△20,272,881	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・補助費等のうち「大江戸まつり盆おどり大会」実施に伴う補助金が91.7%を占めている。中央区大江戸まつり実行委員会では、区からの補助金のほか提灯協賛を区内企業等から得ることで自主財源の確保に努めている。

・大江戸まつり盆おどり大会と雪まつりは、天候に左右される面はあるが来場者数は高い水準で推移しており、区内の町会等各団体の協力を得て開催するイベントとして地域の活性化や区民のふるさと意識の高揚に寄与している。

・イベントの実施において、来場者の安全対策を最優先としているが、人口の増加により、さらに多くの来場者が見込まれるため、今後も来場者が安全に安心して楽しめるイベントとして運営していく必要がある。

② 今後の方向性

・大江戸まつり盆おどり大会をはじめ、各種の地域事業を通じて、区民が交流するきっかけづくりの場を引き続き提供していく。

・イベントの実施において、来場者の安全確保を図るため、会場の配置を一部見直すことによりスペースを確保するなど、より安全な運営に努めていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	社会貢献活動団体との協働の推進	中 事 業 2		中 事 業 3	
社会貢献活動団体との協働推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

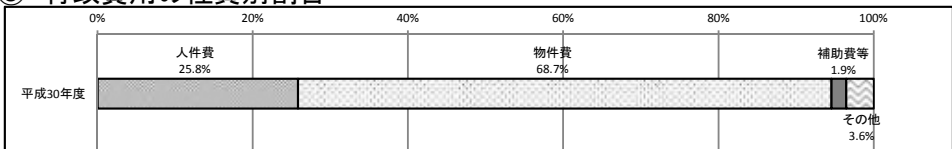
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	8,533,044	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	22,697,805	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	900,000	—	—
	補助費等	631,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	26,390	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	926,390	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,175,600	—	—		行政収支差額	△32,111,059	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
小 計		33,037,449	—	—		通常収支差額	△32,111,059	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△32,111,059	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	32,456,058	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	344,999	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・協働ステーション中央管理運営業務委託 14,256,000円 ・協働提案事業委託 3,429,400円 ・社会貢献活動情報サイト運用業務委託 1,436,000円	決算額の主な内訳	・協働推進会議委員謝礼 631,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	都支支出金	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・平成29年度採択協働提案事業(バリアフリーマップ作成事業)に対する地域福祉推進事業費都補助金(包括補助) 900,000円	決算額の主な内訳	・コピー機等受益者負担金 26,390円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	496,280	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	1	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	8,916,129	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	9,412,409	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△9,412,408	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	1	—	—
資産の部 合計	1	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

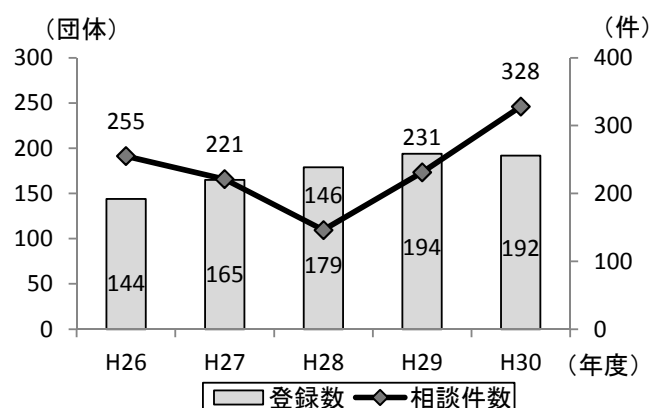
勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・協働ステーション中央(S3年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
社会貢献活動情報サイト登録数(団体)	132	—
社会貢献活動情報サイト年間アクセス数(件)	7,588	—

- ・中央区協働推進会議の提言による協働の仕組みに基づき、協働提案事業を3事業実施。(H29採択:1、H28採択:2)
- ＜H29採択事業＞
- 中央区を知る、もっと知る、みんなで作り上げるバリアフリーマップ作成事業
- 実施団体 特定非営利活動法人 リーフ・ウィズ・ドリーム
- 参加者数 リーダー講習会(1クール3日×2回) 12人
- 企業ボランティア活動調査 3回 19人
- ・協働活動を支える人材の育成、社会貢献活動の情報発信として各種講座を実施。(9回開催、延べ参加者数236人)

協働ステーション中央の利用登録団体・相談件数の推移



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・協働ステーション中央の利用登録団体数および事業展開や協働事業提案等に関する専門相談件数は増加している。区内在住・在勤者への支援として、各種講座や企業向けイベント等を実施したが、今後も企業の力を生かした地域活動を推進していく必要がある。
- ・区民等の地域活動への興味・関心を高めるため、社会貢献活動情報サイト等を通じて、協働ステーション中央が実施する講座の周知や登録団体の情報発信、登録団体相互の情報交換に対する支援等を行った。
- ・協働提案事業については、継続の2事業を含め3事業を実施した。平成29年度に採択された新規実施事業は、協働推進会議において行政課題解決に向けた役割を評価され継続実施することとなったが、平成30年度の採択事業はなかった。
- ・行政収入では、財源確保の観点から、実施する協働提案事業に係る国や都等の補助金を積極的に活用していく必要がある。

② 今後の方向性

- ・協働ステーション中央は、登録団体とさまざまな主体を結びつけるコーディネート機能の強化を図るとともに、社会貢献活動への関心が高い企業の意向を踏まえながら、中間支援拠点としての機能を生かしたネットワークの強化を図っていく。
- ・社会貢献活動情報サイト等を活用して、区民等が興味・関心を持って地域活動に参加できる環境づくりを整えるとともに、情報発信や情報交換の場を提供することにより、各種団体の活動支援を行っていく。
- ・協働提案事業については、事業提案することができる団体の裾野を広げるために提案制度のあり方について検討し、より多様化する区民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を図るとともに、区民等の積極的な地域活動への参加を促し、地域の課題を自ら解決できる「地域力」の向上につなげていく。

令和元年度（平成30年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	公衆浴場対策	中 事 業 2	コミュニティふれあい銭湯	中 事 業 3	
公衆浴場対策事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・公衆浴場の経営の安定を図ることにより、転廃業を防止し、区民の保健衛生の向上を目的として、公衆浴場の設備等整備・燃料費等に要する経費の一部を補助するとともに、浴場事業の振興に要する経費の一部を、東京都公衆浴場業生活衛生同業組合中央支部に対して補助する。また、世代間の交流や在住・在勤者のふれあいを通じてコミュニティ意識を育むため、区内の全公衆浴場において「コミュニティふれあい銭湯」を開設している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

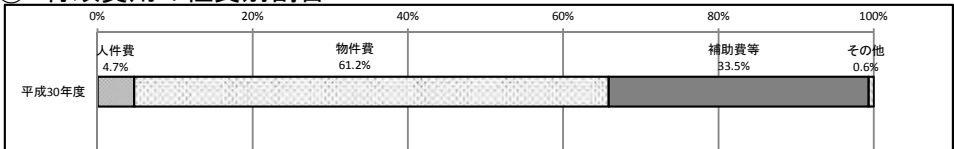
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	3,281,940	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	42,592,035	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	23,325,453	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	452,154	—	—	行政収支差額		△69,651,582	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		69,651,582	—	—	通常収支差額		△69,651,582	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△69,651,582	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		69,784,274	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		132,692	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・ふれあい銭湯開設委託 42,492,600円	決算額の主な内訳	・公衆浴場対策事業実施に対する区補助金 23,325,453円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	190,877	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	3,429,280	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	3,620,157	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△3,620,157	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

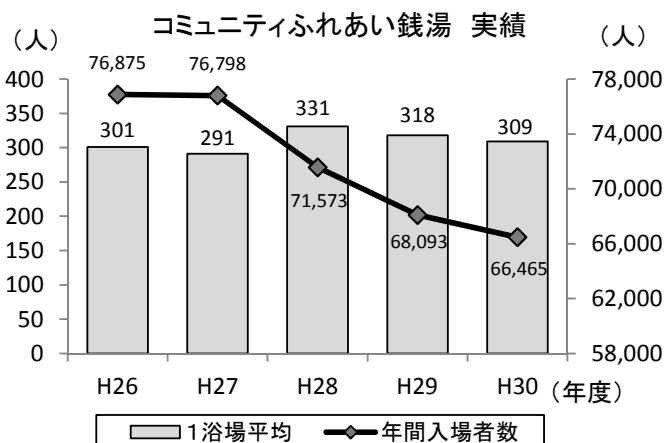
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

設備整備費補助等実績

補助対象事業	平成30年度	令和元年度
かまの更新(件)	0	—
温水器の更新(件)	0	—
浴室および脱衣室塗装(件)	1	—
ポンプの更新(件)	0	—
煙突補修(件)	0	—
浴室等修繕(件)	4	—
クリーンエネルギー化(件)	2	—
耐震化(件)	0	—
燃料費等補助金(浴場)	9	—



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・公衆浴場対策は、公衆浴場の安定経営を図ることにより、転廃業を防止することで、区民の入浴機会を確保している。
- ・行政費用のうち、物件費はふれあい銭湯開設委託料が99.8%を占めている。
- ・コミュニティふれあい銭湯は、公衆浴場対策の一面もある一方で、さらなる世代間交流やコミュニティ意識形成のため、他事業との連携や周知の拡大を図る必要がある。

② 今後の方向性

- ・引き続き公衆浴場対策を実施することで、公衆浴場の安定経営および区民の入浴機会の確保ならびに公衆衛生の向上を図る。
- ・世代間交流やコミュニティ意識形成をさらに促進するため、コミュニティふれあい銭湯を引き続き実施するとともに、公衆浴場のさらなる周知について検討する。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	公 設 浴 場 の 維 持 管 理	中 事 業 2		中 事 業 3	
公設浴場管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区が都心地域に公衆浴場を確保するために設置した公設浴場の維持管理を行うことにより、区民の入浴機会の確保と公衆衛生の向上を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

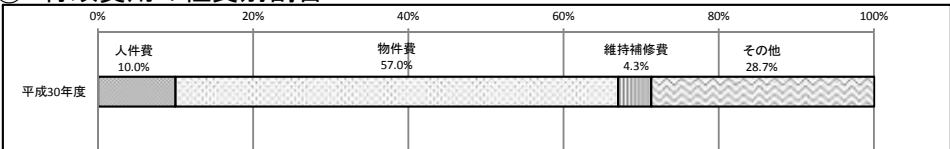
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,163	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	11,241,118	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	841,881	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	5,394,359	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	—	—		行政収支差額	△19,717,813	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
小 計		19,717,813	—	—		通常収支差額	△19,717,813	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△19,717,813	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	14,403,070	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	△5,314,743	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・入船湯給湯ボイラー等設備保守等委託 5,177,991円 ・入船湯賃料および共益費 3,000,538円 ・十思湯光熱水費(共用部) 918,972円	決算額の主な内訳	・十思湯 5,394,359円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	維持補修費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・銀座湯浴室シャワー等改修工事 216,000円 ・十思湯循環ろ過器等改修工事 342,381円 ・入船湯浴槽手摺取付工事 130,680円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

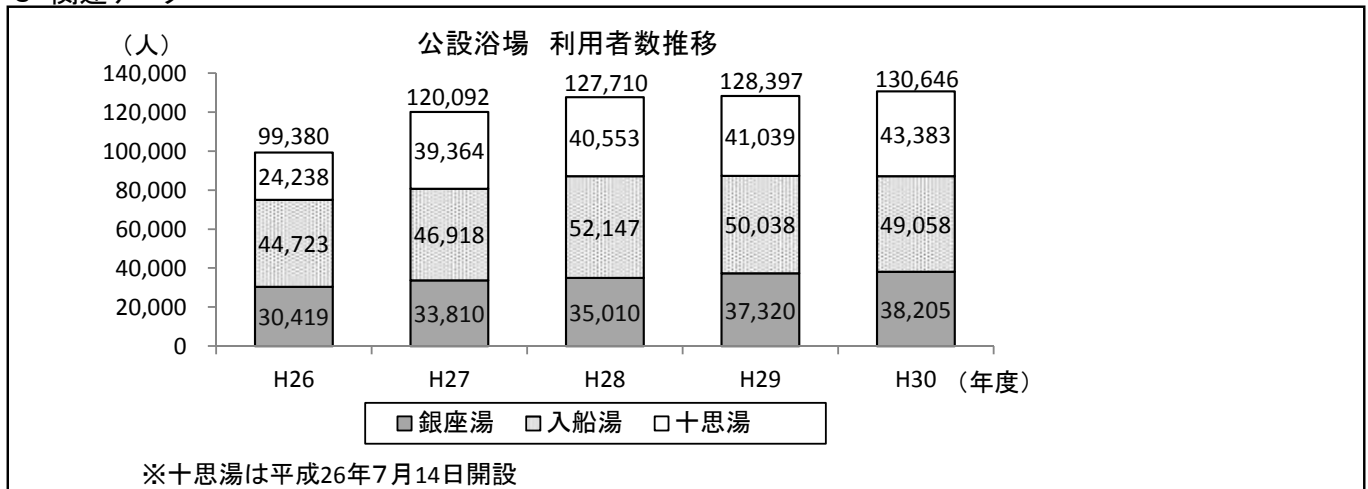
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	114,526	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	106,264,000	—	—	固定負債			
建物	248,140,533	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	2,057,568	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,172,094	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	352,232,439	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	354,404,533	—	—
資産の部 合計	354,404,533	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・十思湯 248,140,532円 ・銀座湯(S50年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	・銀座湯敷地 106,264,000円
主な 増減理由		主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち委託料が61.3%を占めている。今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

・区内の自家風呂保有率が97.0%を超える中、公設浴場の利用者数は緩やかな増加傾向にあり、公衆浴場の利用ニーズに応えている。

② 今後の方向性

・利用者が安心して施設を利用できるよう適切な維持管理を継続し、必要に応じて修繕等を行っていく。

・コミュニティの形成や高齢者の生きがい・健康増進の観点からさらなる利用者の増加を図るため、公設浴場を含めた公衆浴場のより一層の周知を行っていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	区民館の管理運営	中事業2	区民館の改修	中事業3	人形町区民館建物取得（償還費）
区民館管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・町会・自治会のコミュニティ活動の場の確保・充実等により、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、会議、講習会、サークルの集い等に利用できる集会施設として区民館を管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

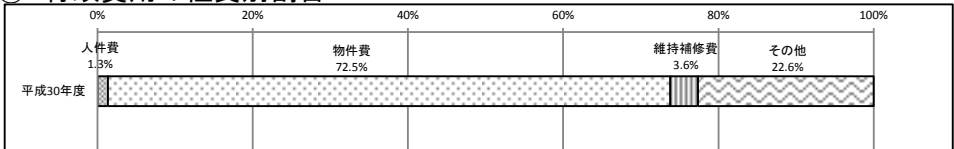
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,251,103	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	282,213,262	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	13,834,584	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	30,294,000	—	—		使用料及び手数料	99,318,812	—	—
	減価償却費	57,154,291	—	—		その他	100,072	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—	小 計		99,418,884	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	723,446	—	—	行政収支差額		△290,051,802	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		△3,106,410	—	—
小 計		389,470,686	—	—	通常収支差額		△293,158,212	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△293,158,212	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		236,216,228	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計（一般財源調整後）		△56,941,984	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	投資的経費
決算額の主な内訳	・指定管理料 240,819,933円 ・光熱水費 26,420,148円	決算額の主な内訳	・勝どき区民館冷暖房機器取替工事 17,496,000円 ・浜町区民館冷温水発生機取替工事 12,798,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・新川区民館屋外等排水管改修工事 6,372,000円 ・銀座区民館給水設備改修工事 3,963,600円 ・新富区民館他4カ所可動間仕切等改修工事 1,566,000円	決算額の主な内訳	・区民館使用料 99,250,800円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

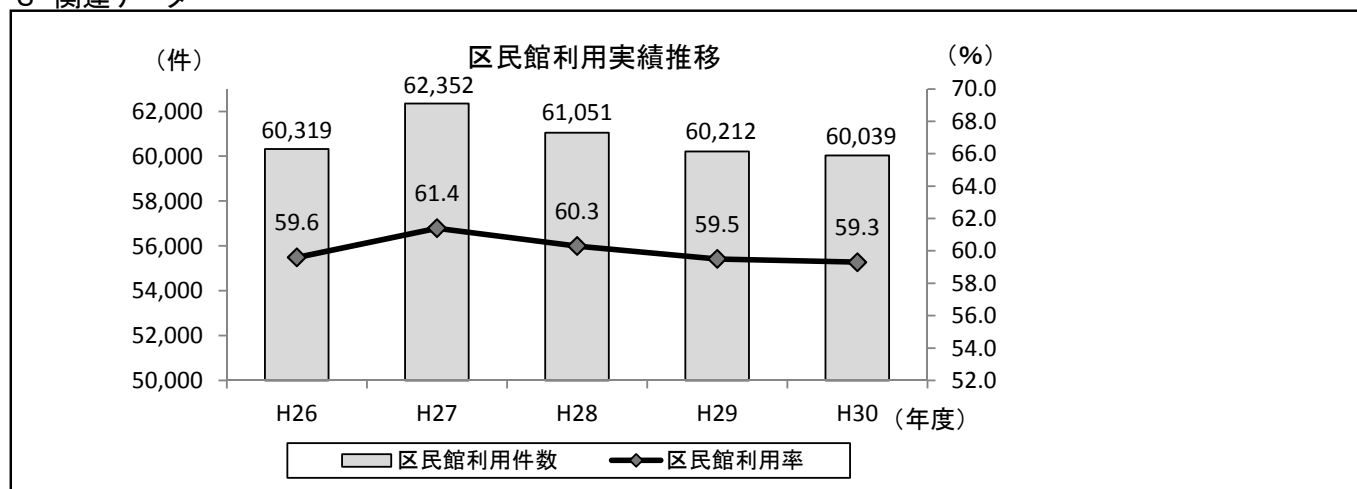
(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	305,403	—	—
固定資産				その他	16,146,000	—	—
土地	1,085,891,742	—	—	固定負債			
建物	1,359,774,401	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	429,552	—	—	退職給与引当金	5,486,849	—	—
重要物品	0	—	—	その他	177,606,000	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	199,544,252	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	2,246,551,443	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	2,446,095,695	—	—
資産の部 合計	2,446,095,695	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・区民館(明石町他15区民館) 1,359,774,401円	決算額の 主な内訳	・区民館等敷地(明石町他7区民館) 1,085,891,742円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目	工作物	勘定科目	その他(固定負債)
決算額の 主な内訳	・堀留町区民館花壇回り石 429,552円	決算額の 主な内訳	・人形町区民館建物取得(償還費) 177,606,000円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち指定管理料等、委託料が全体の89.6%を占めている。今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、地域に住む人たちがさまざまな団体がお互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援していく。

令和元年度（平成30年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	中央会館「銀座プロッサム」の管理運営	中事業2	中央会館「銀座プロッサム」の改修	中事業3	
中央会館「銀座プロッサム」管理事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上に寄与し、その福祉の増進を図るため、各種設備を備えたホール、結婚式場、集会室を整備し、管理・運営している。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

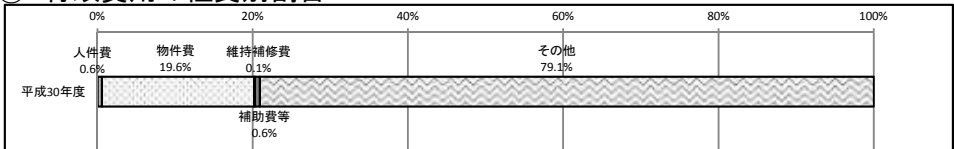
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,251,103	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	183,453,222	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	972,000	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	6,030,710	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	711,808,600	—	—		使用料及び手数料	20,165,141	—	—
	減価償却費	27,693,258	—	—		その他	2,089,987	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小計	22,255,128	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	723,447	—	—	行政収支差額		△913,677,212	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小計		935,932,340	—	—	通常収支差額		△913,677,212	—	—
特別費用		14	—	—	当期収支差額		△911,077,227	—	—
特別収入		2,599,999	—	—	一般財源充当調整		886,196,261	—	—
特別収支差額		2,599,985	—	—	再計(一般財源調整後)		△24,880,966	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	投資的経費	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・大規模改修工事費 711,808,600円	決算額の主な内訳	・指定管理料 179,458,025円 ・平台等の購入 1,773,360円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	補助費等	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・利用料金減免額の補填 6,030,710円	決算額の主な内訳	・中央会館レストラン等使用料 18,820,903円
主な増減理由	—	主な増減理由	

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

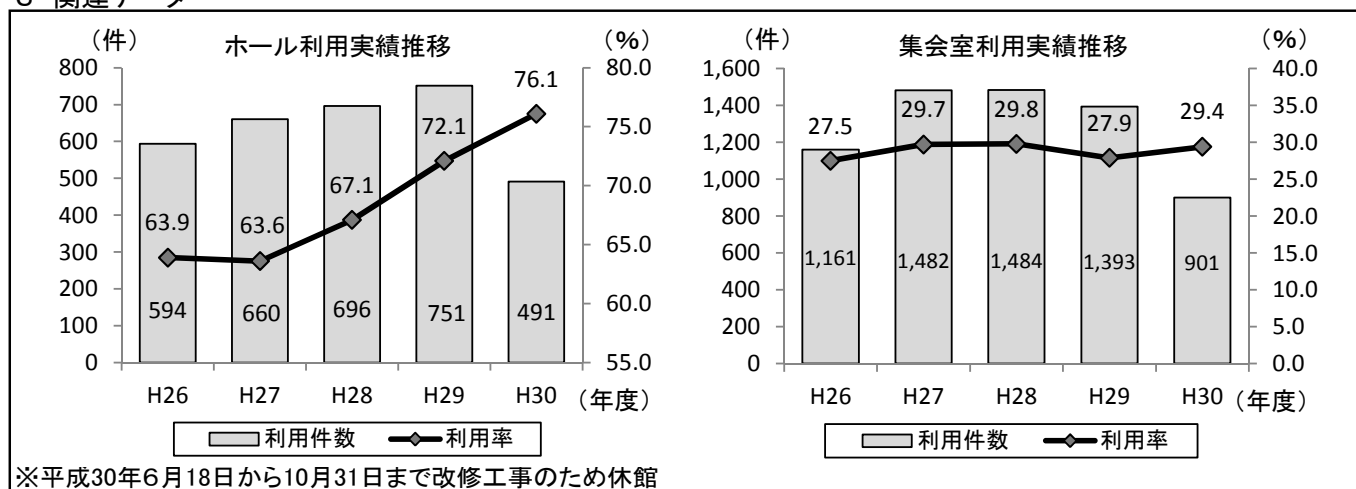
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	305,403	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	612,997,600	—	—	固定負債			
建物	1,311,324,785	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	1,755,772	—	—	退職給与引当金	5,486,849	—	—
重要物品	23,198,407	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	5,792,252	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	1,943,484,312	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	1,949,276,564	—	—
資産の部 合計	1,949,276,564	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・中央会館 1,311,324,785円	決算額の主な内訳	・中央会館敷地 612,997,600円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	重要物品	勘定科目	工作物
決算額の主な内訳	・グランドピアノ 22,896,000円	決算額の主な内訳	・連続地中壁増深部分 1,755,772円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・平成30年度は、建築・電気設備・機械設備の大規模改修工事を実施し、施設のリニューアルを行った。
 ・物件費のうち指定管理料等、委託料が全体の98.2%を占めている。今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。また、サービスの維持・改善に努め、利用者満足度を高めることで、利用率の向上につなげる必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行うことで、区民の文化の向上に寄与する役割を果たしていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	セレモニーホールの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
セレモニーホール 管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・区民が葬儀のほか法要、集会、会議等に利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

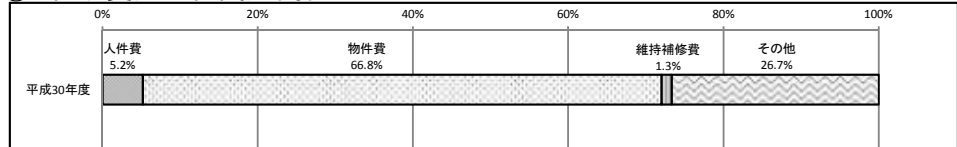
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,164	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	25,378,737	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	496,800	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	9,571,400	—	—
	減価償却費	9,863,602	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	9,571,400	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	—	—		行政収支差額	△28,408,195	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	37,979,595	—	—		通常収支差額	△28,408,195	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△28,408,195	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	18,624,209	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	△9,783,986	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・セレモニーホール業務委託 14,554,447円 ・エレベーター設備保守等委託 7,040,765円 ・光熱水費 2,337,411円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール 9,827,182円 ・セレモニーホール・勝どきコミュニティルーム擁壁 36,420円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・シャッター重量電動開閉機の交換工事 496,800円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール使用料 9,571,400円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

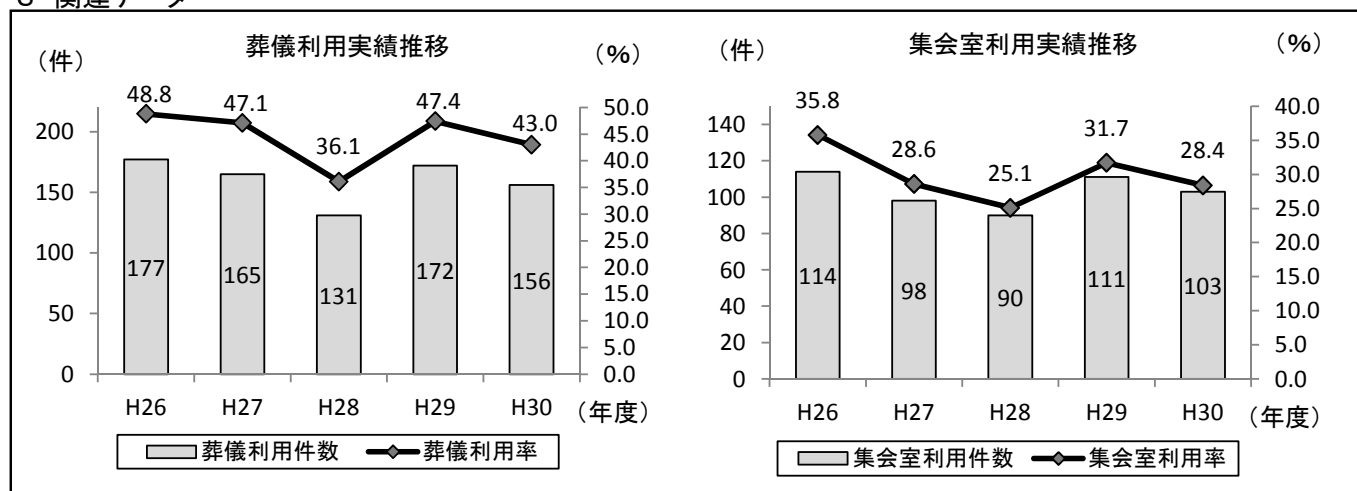
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	114,526	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	120,548,000	—	—	固定負債			
建物	265,333,952	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	983,340	—	—	退職給与引当金	2,057,568	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,172,094	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	384,693,198	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	386,865,292	—	—
資産の部 合計	386,865,292	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の主な内訳	・セレモニーホール 265,333,952円	決算額の主な内訳	・セレモニーホール等敷地 120,548,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・セレモニーホール・勝どきコミュニティールーム擁壁 983,340円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち指定管理料等、委託料が全体の85.1%を占めている。今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	浜町集会施設「浜町メモリアル」の管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
浜町集会施設 「浜町メモリアル」 管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・葬儀利用はもとより、集会、会議等、区民の交流やコミュニティの場として利用できる施設として開設し、管理・運営している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

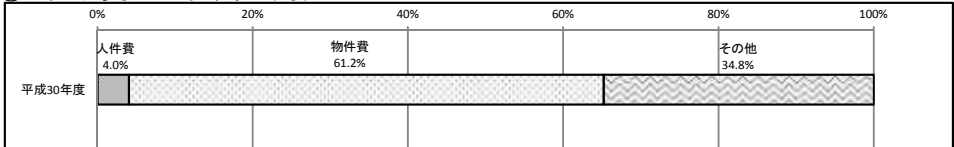
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,665,576	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	40,432,932	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	6,226,520	—	—
	減価償却費	21,938,688	—	—		その他	44,700	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	6,271,220	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,072,269	—	—	行政収支差額		△59,838,245	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
	小 計	66,109,465	—	—	通常収支差額		△59,838,245	—	—
	特別費用	0	—	—	当期収支差額		△59,838,245	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		37,255,141	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		△22,583,104	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・指定管理料 40,394,830円	決算額の主な内訳	・浜町集会施設 21,497,283円 ・浜町集会施設車路フェンス 222,105円 ・浜町集会施設現場打ち側溝 156,332円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	・浜町集会施設使用料 6,226,520円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

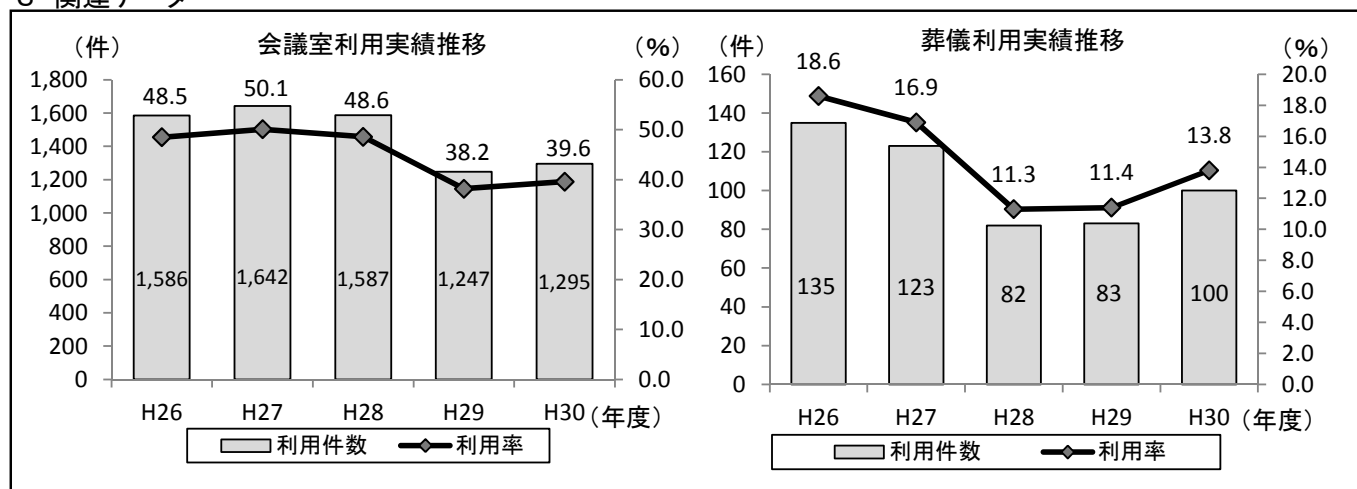
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	152,702	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	331,255,656	—	—	固定負債			
建物	881,388,644	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	5,792,355	—	—	退職給与引当金	2,743,424	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,896,126	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	1,215,540,529	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	1,218,436,655	—	—
資産の部 合計	1,218,436,655	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設 881,388,644円	決算額の 主な内訳	・浜町集会施設敷地 331,255,656円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・浜町集会施設現場打ち側溝 3,191,012円 ・浜町集会施設車路フェンス 1,316,055円 ・浜町集会施設縁石 1,285,288円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち指定管理料が全体の99.9%を占めている。今後、人件費の高騰等により委託料の増加が想定されることや、経年劣化等による維持補修費の抑制を図るため、計画的な修繕を行う必要がある。

② 今後の方向性

・利用者満足度を高めるため、利用者の要望を参考にして、さらなるサービスの向上に努めるとともに、利用者が安全に安心して施設を利用できるよう、適切な維持管理を継続し、必要に応じた修繕等を行っていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (地域振興課)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会やさまざまな地域団体の活動を活性化するため、一定地域内の各団体が自由に利用できる自主管理型施設として、地域コミュニティルームを整備する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,969,164	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	5,012,131	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	16,524	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	336,600	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	3,764,071	—	—		その他	257,858	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	257,858	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	271,292	—	—		行政収支差額	△11,111,924	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
小 計		11,369,782	—	—		通常収支差額	△11,111,924	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△11,111,924	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	7,427,469	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	△3,684,455	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・コミュニティルームトイレ清掃等委託 4,090,196円	決算額の主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 3,764,071円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	補助費等	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・地域コミュニティルーム管理運営事業助成金 219,000円	決算額の主な内訳	・光熱水費(京華コミュニティルーム) 195,442円 ・共益費(湊コミュニティルーム) 62,416円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	114,526	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	99,548,625	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	2,057,568	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,172,094	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	97,376,531	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	99,548,625	—	—
資産の部 合計	99,548,625	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・京橋プラザ、湊、築地あかつきコミュニティルーム 99,548,624円 ・京華コミュニティルーム(S4年竣工) 1円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

京橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
京橋プラザコミュニティルーム	平成11年7月	463.3
湊コミュニティルーム	平成10年4月	195.95
築地あかつきコミュニティルーム	平成7年4月	101.58
京華コミュニティルーム	平成13年1月	458.37

4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち委託料が81.6%を占めており、地域コミュニティルームの適切な維持管理に努めている。
 ・町会・自治会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。
 ・複合施設を含む各コミュニティルームの経年劣化が進んでいることから、改修経費を最小限に抑え、地域活動の場を継続的に提供していくために、施設を管理している関係部署と施設状況について情報を共有し、適切に管理していく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の現状を把握し、改修を計画的かつ効果的に行うことにより、今後の改修にかかる経費を必要最小限に抑え、町会・自治会やさまざまな地域団体の活動の場を長期的に良好な状態の維持に努め、まちの課題解決に取り組む活動を支援していく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート			部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。			
関連する個別計画				

大 事 業	中 事 業 1	日本橋特別出張所の管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
日本橋特別出張所 管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

- ・日本橋特別出張所等複合施設の庁舎維持管理を図り、公務の円滑かつ適正な運営を確保する。
- ・戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱い、日本橋地域の住民の利便を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

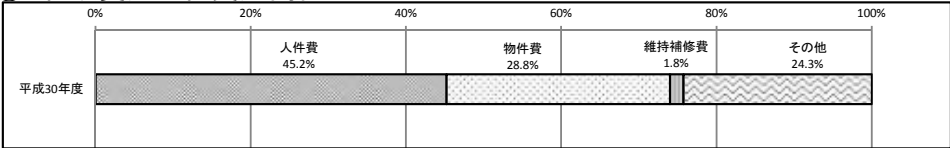
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	51,312,751	—	—	行政収入	地方区税	0	—
	物件費	32,666,939	—	—		特別区財政調整交付金	0	—
	維持補修費	2,007,184	—	—		国庫支出金	0	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	1,046,700	—
	減価償却費	18,161,150	—	—		その他	2,020	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—	小 計		1,048,720	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,366,103	—	—	行政収支差額		△112,465,407	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—
	小 計	113,514,127	—	—	通常収支差額		△112,465,407	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△112,465,407	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		94,175,615	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		△18,289,792	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	維持補修費
決算額の主な内訳	・建物維持管理業務委託 17,471,915円 ・需用費(光熱水費) 7,267,961円 ・空調用自動制御装置保守点検 1,189,203円	決算額の主な内訳	・太陽光発電計測表示装置等修理 495,720円 ・4階ピアノ庫系統空調機修理 324,540円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,046,700円	決算額の主な内訳	・公衆電話委託手数料 1,296円 ・臨時職員雇用保険料 724円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

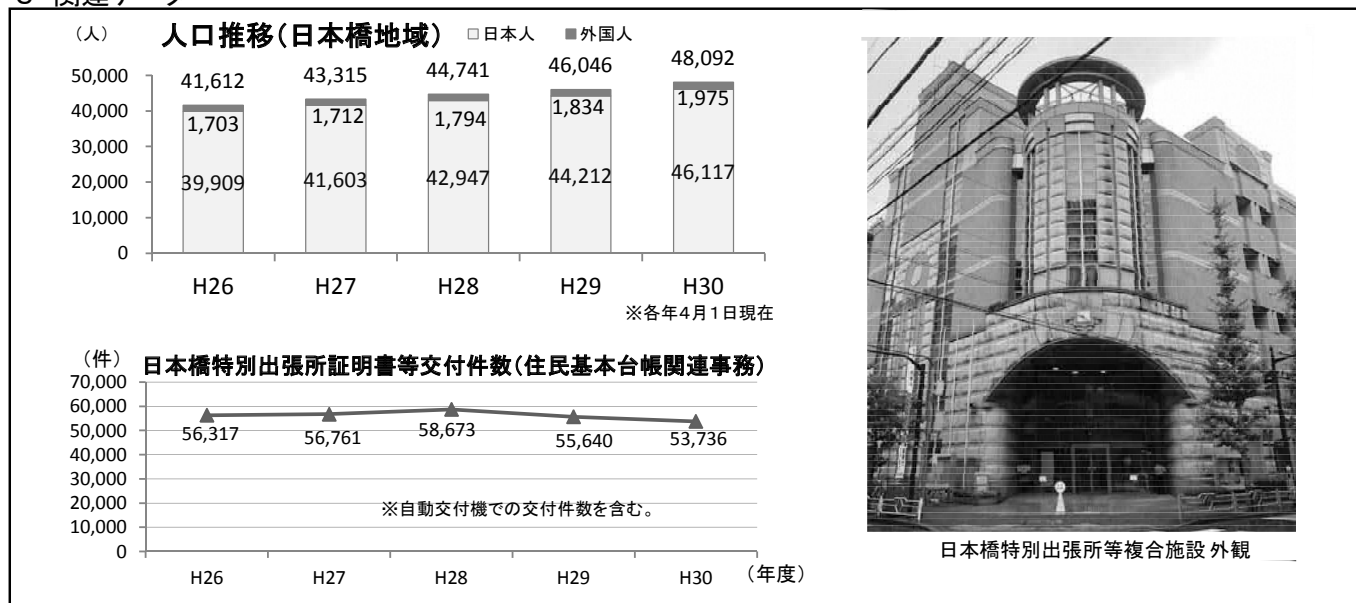
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	3,054,032	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	66,356,466	—	—	固定負債			
建物	510,042,795	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	9,702,426	—	—	退職給与引当金	54,868,486	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	57,922,518	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	528,179,169	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	586,101,687	—	—
資産の部 合計	586,101,687	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	土地
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設 510,042,795円	決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所等複合施設 66,356,466円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・日本橋特別出張所スリット型排水溝 4,905,096円 ・日本橋特別出張所モニュメント 3,103,819円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用の28.8%を占めている物件費においては、維持管理に係る経費が97.1%を占めている。
- ・日本橋特別出張所等複合施設は、平成11年開設から20年が経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。不具合・事故を未然に防止し、安全かつ円滑な運用を図るため、施設全体の改修が必要である。
- ・転入者や外国人の増加により、一人一人の窓口対応に要する時間が増加傾向にある。

② 今後の方向性

- ・施設の大規模改修を計画するとともに、大規模改修前の不具合や事故を未然に防ぐため、保守点検の回数を増やすなど、必要な措置を講じていく。
- ・今後も人口の増加や外国人の増加が想定される中、外国語対応のできる職員の配置を検討するなど、窓口対応のサービス水準の確保に向けた取組を適宜進めていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート			部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。			
関連する個別計画				

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2	中 事 業 3
自治振興事務 (日本橋特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5	中 事 業 6
	中 事 業 7		中 事 業 8	中 事 業 9
	中 事 業 10		中 事 業 11	中 事 業 12
	中 事 業 13		中 事 業 14	中 事 業 15
	中 事 業 16		中 事 業 17	中 事 業 18

1 事業の目的

・日本橋地域におけるコミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。 ・日本橋地域内の町会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

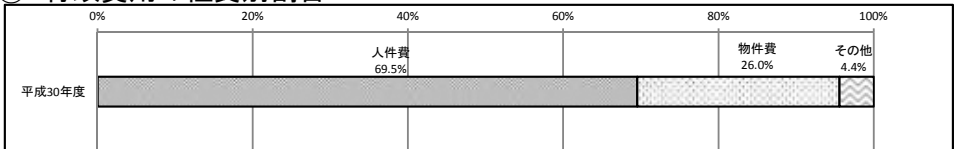
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,799,653	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	673,638	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	114,526	—	—	行政収支差額		△2,587,817	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		2,587,817	—	—	通常収支差額		△2,587,817	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△612,945	—	—
特別収入		1,974,872	—	—	一般財源充当調整		2,944,270	—	—
特別収支差額		1,974,872	—	—	再計(一般財源調整後)		2,331,325	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 484,260円 ・行政懇談会会場使用料 174,258円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	114,526	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	2,057,568	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,172,094	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△2,172,094	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(日本橋地域)

	H26	H27	H28	H29	H30
団体数(団体)	68	68	68	68	68
出席団体数(団体)	45	44	43	44	43
出席率(%)	66.2	64.7	63.2	64.7	63.2



行政懇談会(日本橋地域)

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・日本橋地域の町会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しており、毎年6割以上の町会が出席している。
- ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

- ・引き続き行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。また、小規模マンションが多い地域性に鑑み、コミュニティ連絡相談員等を通じて町会と連携しながら、町会の加入促進等に対するきめ細かい支援を行うことで、地域コミュニティの活性化に寄与していく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 (日本橋特別出張所)	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

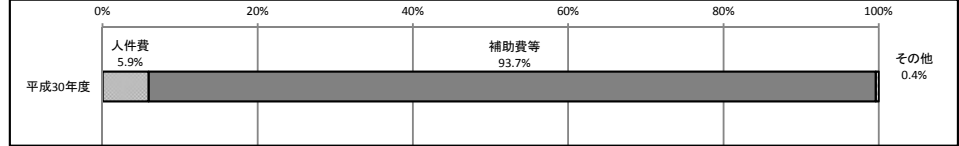
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	1,239,793	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	0	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	19,547,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	76,351	—	—	行政収支差額		△20,863,144	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小計		20,863,144	—	—	通常収支差額		△20,863,144	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△20,257,109	—	—
特別収入		606,035	—	—	一般財源充当調整		21,060,756	—	—
特別収支差額		606,035	—	—	再計(一般財源調整後)		803,647	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 13,747,000円 ・地域の盆おどりに対する助成金 5,800,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	76,351	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	1,371,712	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	1,448,063	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△1,448,063	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(日本橋)

	H26	H27	H28	H29	H30
対象団体数(団体)	68	68	68	68	68
助成団体数(団体)	56	51	54	51	56
助成件数(件)	74	75	79	74	83

地域盆おどり大会助成件数(日本橋)

	H26	H27	H28	H29	H30
助成件数(件)	26	24	26	25	26

4 総括

① 現状・成果・課題

・地域独自イベントの開催を支援することで、多くの区民が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の向上を図っている。

② 今後の方向性

・今後も人口の増加が想定される中、町会が主体となって行うイベントや盆踊りの開催を継続的に支援し、地域独自の伝統的なイベントに加え、新しいイベントの開催も促進することで、新たに住民となった方を含めた多くの区民が交流するきっかけをつくるとともにふるさと意識の高揚を図り、地域の活性化につなげていく。

令和元年度（平成30年度分）事業別行政評価シート		部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。		
	・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2	地域コミュニティルームの改修	中 事 業 3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (日本橋特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・日本橋地域町会やさまざまな団体が互いに支え合い、地域全体で課題解決に取り組む活発なコミュニティ活動を支援するため、交流・活動の場を提供する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

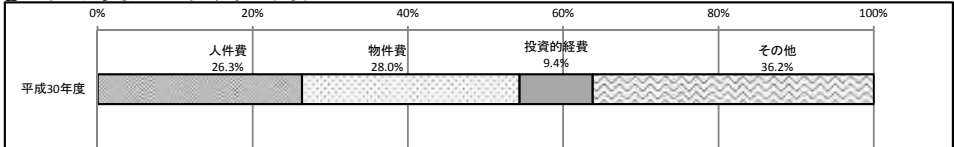
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	7,359,184	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	7,834,253	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	2,635,200	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	3,444,398	—	—		その他	89,460	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	89,460	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,679,106	—	—		行政収支差額	△27,862,681	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
小 計		27,952,141	—	—		通常収支差額	△27,862,681	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△27,862,681	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	18,705,647	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	△9,157,034	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・光熱水費 2,042,325円 ・地域コミュニティルームの警備委託 1,213,056円 ・浜町コミュニティルーム敷地に係る賃借料 1,784,332円 ・AED機器レンタル 174,960円	決算額の主な内訳	・箱崎町コミュニティルーム(建物) 1,721,069円 ・浜町コミュニティルーム(建物) 908,523円 ・中洲コミュニティルーム(建物) 814,806円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	投資的経費	勘定科目	その他(行政収入)
決算額の主な内訳	・中洲コミュニティルーム外壁および防水改修工事 2,635,200円	決算額の主な内訳	・十思コミュニティルーム電気使用料 89,460円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	419,929	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	67,065,325	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	7,544,417	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	7,964,346	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	59,100,979	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	67,065,325	—	—
資産の部 合計	67,065,325	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・箱崎町、中洲、浜町、十思コミュニティルーム 67,065,325円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

日本橋地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(㎡)
箱崎町コミュニティルーム	平成6年10月	183.19
浜町コミュニティルーム	平成6年12月	97.2
中洲コミュニティルーム	平成7年9月	126.44
十思コミュニティルーム	平成12年12月	201.6

4 総括

① 現状・成果・課題

・浜町コミュニティルームの設置にあたっては、都有地を借り受けており、この借り受けに伴う賃借料が物件費の約2割を占めている。

・町会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。

・日本橋地域コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有し、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の適切な現状把握とともに、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効果的に改修を行うことで、施設の良好な状態の維持、町会等さまざまな団体のコミュニティ活動の場の持続的な提供を図っていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部日本橋特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	日 本 橋 公 会 堂 の 管 理 運 営	中 事 業 2		中 事 業 3	
日本橋公会堂管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・区民の文化の向上と福祉の増進に寄与するため、ホール（日本橋劇場）と集会室の貸出および維持管理に関する業務を行う。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

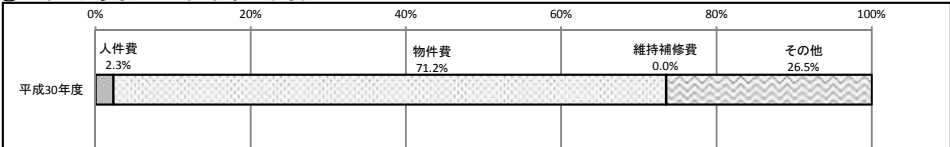
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,159,292	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	160,534,929	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	43,717	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	70,302,350	—	—
	減価償却費	58,301,443	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	70,302,350	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,433,993	—	—	行政収支差額		△155,171,024	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		225,473,374	—	—	通常収支差額		△155,171,024	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△155,171,024	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		96,331,318	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計（一般財源調整後）		△58,839,706	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	- 指定管理者委託料 64,849,059円 - 光熱水費 21,937,852円 - 施設維持管理 18,156,881円	決算額の主な内訳	日本橋公会堂（建物） 58,301,443円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	使用料及び手数料	勘定科目	
決算額の主な内訳	日本橋公会堂使用料 70,302,350円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

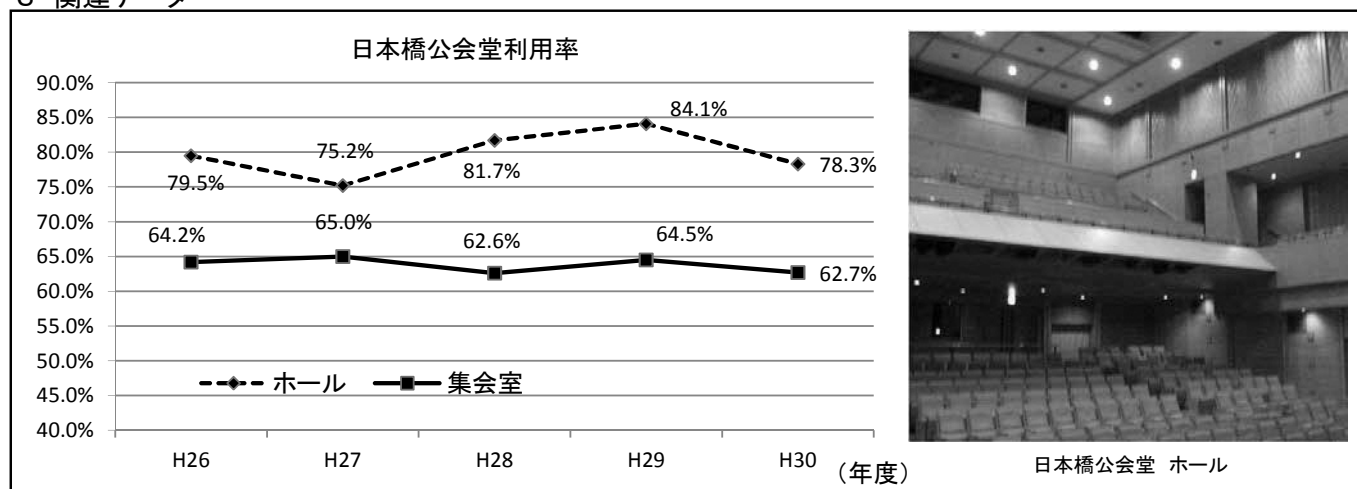
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	305,403	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	1,749,043,311	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	5,486,849	—	—
重要物品	17	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	5,792,252	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	1,743,251,076	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	1,749,043,328	—	—
資産の部 合計	1,749,043,328	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の主な内訳	日本橋公会堂 1,749,043,311円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用の71.2%を占めている物件費においては、日本橋公会堂の指定管理に係る経費や施設の維持管理の経費が86.3%を占めている。
- ・近年のホール利用率は、約8割を維持している一方、集会室は6割程度にとどまっている。
- ・日本橋公会堂は、平成11年開設から20年が経過している。定期的な保守点検・部品交換を実施しているが、舞台装置等を含めた各種装置・構成部品に経年劣化がみられるものが多い。不具合・事故を未然に防止し、安全かつ円滑な運用を図るため、施設の改修が必要である。

② 今後の方向性

- ・広報活動等を通じて集会室の利用率向上に努める。
- ・日本橋特別出張所等複合施設の大規模改修に併せて、日本橋公会堂の改修を計画するとともに、改修完了前の設備の不具合や事故を未然に防ぐため、保守点検回数を増やすなど、適切な維持管理を図っていく。

基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。
関連する個別計画	

大事業	中事業1	月島特別出張所の管理運営	中事業2		中事業3	
	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
月島特別出張所 管理事業	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

- ・月島地域の住民の利便性の向上を図るため、本区の行政機関として設置している。
- ・特別出張所では、戸籍、住民基本台帳、印鑑登録や国民健康保険、後期高齢者医療制度、国民年金、税務、介護保険等各種福祉関係の窓口事務をはじめ、地域活動事務等区民の日常生活に関わりのある事務を本庁担当課と連携して取り扱っている。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

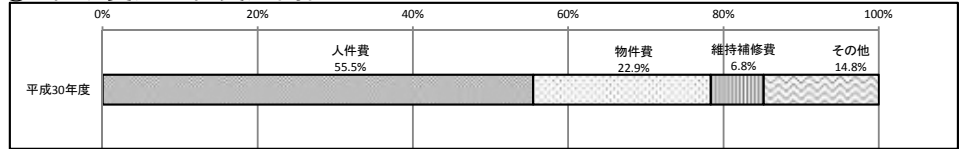
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	46,215,277	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	19,067,335	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	5,645,441	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	1,646,700	—	—
	減価償却費	5,674,766	—	—		その他	3,350	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—	小計		1,650,050	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	6,691,881	—	—	行政収支差額		△81,644,650	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小計		83,294,700	—	—	通常収支差額		△81,644,650	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△81,644,650	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		77,933,720	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		△3,710,930	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・光熱水費 2,747,864円 ・維持管理等業務委託 13,776,988円	決算額の主な内訳	・月島特別出張所等複合施設(建物) 3,721,339円 ・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備等(工作物) 1,953,427円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	維持補修費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・月島特別出張所外床タイル補修工事 4,529,018円	決算額の主な内訳	・納税証明等手数料 1,646,700円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	2,824,980	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	937,650	—	—	固定負債			
建物	70,868,515	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	19,668,171	—	—	退職給与引当金	50,753,350	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	53,578,330	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	37,896,006	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	91,474,336	—	—
資産の部 合計	91,474,336	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	工作物
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設 70,868,515円	決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設太陽光発電設備 14,478,355円 ・月島特別出張所懸垂幕ポール 1,052,613円
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目	土地	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・月島特別出張所等複合施設 937,650円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・行政費用の22.9%を占めている物件費においては、維持管理に係る経費が72.5%を占めている。

・月島特別出張所は、昭和63年の竣工から30年が経過し、建物および設備の老朽化が進んでいることから、維持補修工事・小破修理に要する経費が増加傾向にある。

・月島地域の人口の推移は引き続き増加傾向にある。窓口利用件数については、年度ごとの変動はあるが、今後、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会後の住宅等の整備にあたり、さらなる人口の増加とそれに伴う窓口利用件数の増加が見込まれることから、窓口対応の体制を強化していく必要がある。

② 今後の方向性

・各設備の保守部品等の耐用年数を考慮し、経費の抑制および平準化を図りながら計画的な維持補修を行っていく。

・月島地域の人口増加に対応するため、特に人口の増加が著しい晴海地区において特別出張所の整備を進めているところである。同施設の令和5年度の開設に向け、実施設計等を着実に進めていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート			部課名	区民部月島特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。			
関連する個別計画				

大 事 業	中 事 業 1	自 治 振 興 事 務	中 事 業 2		中 事 業 3	
自治振興事務 （月島特別出張所）	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・コミュニティ施策に関する調査および連絡調整並びにコミュニティ活動の援助を行うとともに、コミュニティ連絡相談員を派遣することによって、区と地域コミュニティとの連携の円滑化を図る。 ・区内町会長・自治会長に対し、区の事務事業を周知するとともに、行政全般にわたる各種要望を受ける場として、行政懇談会を開催し、区政の円滑な運営に寄与する。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

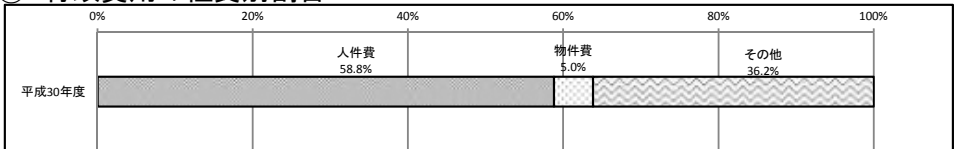
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	4,491,787	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	382,428	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,764,654	—	—		行政収支差額	△7,638,869	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	7,638,869	—	—		通常収支差額	△7,638,869	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△7,638,869	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	5,572,927	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計（一般財源調整後）	△2,065,942	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・行政懇談会食糧費 367,308円 ・音声ファイル反訳 15,120円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	267,228	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	4,800,993	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	5,068,221	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△5,068,221	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

行政懇談会出席実績(月島地域)

	H26	H27	H28	H29	H30
団体数(団体)	43	44	44	45	45
出席団体数(団体)	32	36	34	37	35
出席率(%)	74.4	81.8	77.3	82.2	77.8



行政懇談会(月島地域)

4 総括

① 現状・成果・課題

- ・月島地域の町会・自治会に対し、区の事業を周知するとともに、区政に対する要望を受ける場として行政懇談会を開催しており、毎年8割程度の町会・自治会が出席している。
- ・コミュニティ連絡相談員を通じ、区と町会・自治会との連携の円滑化を図っている。

② 今後の方向性

- ・引き続き行政懇談会の開催やコミュニティ連絡相談員の派遣等さまざまな機会を捉えて、町会活動の活性化に資する事業の周知を図っていく。また、月島地域において、今後も大幅な人口増加が想定される中、既存町会・自治会に加え新築マンション等における新たな自治会とも円滑な連携を図りながら、地域コミュニティの活性化に寄与していく。

令和元年度（平成30年度分）事業別行政評価シート			部課名	区民部月島特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上			
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。			
関連する個別計画				

大事業	中事業1	地域手づくりイベント推進助成	中事業2	地域の盆おどりに対する助成	中事業3	
コミュニティ活動支援事業 （月島特別出張所）	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・地域独自のイベントの開催を通じ、区民のふるさと意識の高揚と地域の活性化、自治活動の促進を図っていく。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

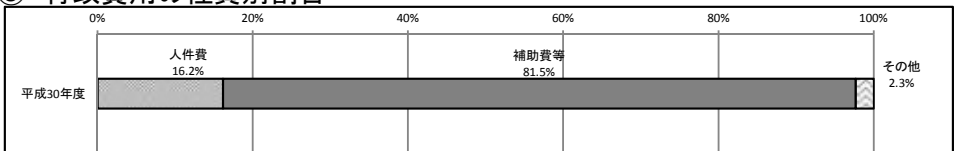
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	2,498,123	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	0	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	12,589,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	361,723	—	—	行政収支差額		△15,448,846	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小計		15,448,846	—	—	通常収支差額		△15,448,846	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△15,448,846	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		15,554,999	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計（一般財源調整後）		106,153	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域手づくりイベント推進助成金 11,439,000円 ・地域盆おどり大会助成金 1,150,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	152,702	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	2,743,424	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	2,896,126	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△2,896,126	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

地域手づくりイベント推進助成件数(月島)

	H26	H27	H28	H29	H30
対象団体数(団体)	44	44	44	45	45
助成団体数(団体)	35	34	30	33	35
助成件数(件)	46	46	42	45	49

地域盆おどり大会助成件数(月島)

	H26	H27	H28	H29	H30
助成件数(件)	22	6	22	22	4

※H27、H30は「住吉神社大祭(3年に1回開催)」開催年度のため実績減

4 総括

① 現状・成果・課題

・町会・自治会が主体となって行う独自イベントの開催を促進するため、地域の手づくりイベントおよび盆踊りの開催に対し、助成を行っている。地域の手づくりイベントにおいては、毎年8割近い団体が助成を利用しており、多くの区民が地域で触れ合い、交流するきっかけをつくるとともに、地域への愛着心や連帯感、ふるさと意識の向上を図っている。

② 今後の方向性

・今後も人口の増加が想定される中、地域独自のイベントや盆踊りの開催を継続的に支援し、地域ごとの伝統的なイベントに加え、新しいイベントの開催も促進することで、新たに住民となった方を含めた多くの区民が交流するきっかけをつくるとともに、ふるさと意識の高揚を図り、地域の活性化につなげていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部月島特別出張所
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-1	さまざまな絆が生み出す「地域力」の向上		
施策の目標	・町会・自治会の活動に対する支援を行うとともに、区民の地域への愛着やふるさと意識の向上に寄与するふれあいと交流等の機会を提供することで、良好なコミュニティの醸成と地域活動の活性化を図ります。 ・町会・自治会や企業をはじめとしたさまざまな団体と地域住民の連携を支援し、まちの課題を自ら解決できる地域の力を高め、都心型協働社会の形成を推進します。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	地域コミュニティルームの管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域コミュニティルーム 管理事業 (月島特別出張所)	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・町会・自治会活動の円滑化を促進し、地域コミュニティの活性化を図るため、一定地域内(連合町会単位)の複数の町会・自治会等が共同で自由に利用できる自主管理型施設である地域コミュニティルームの管理運営を行う。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

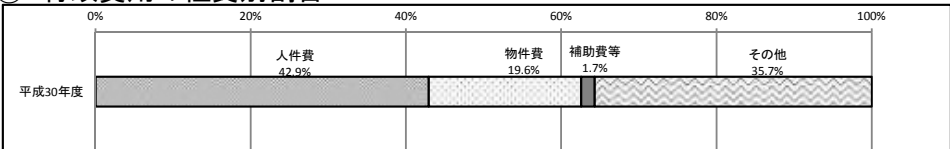
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,500,707	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	2,516,004	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	219,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	4,232,609	—	—		その他	141,551	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	141,551	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	343,579	—	—	行政収支差額		△12,670,348	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		12,811,899	—	—	通常収支差額		△12,670,348	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△11,009,009	—	—
特別収入		1,661,339	—	—	一般財源充当調整		9,266,954	—	—
特別収支差額		1,661,339	—	—	再計(一般財源調整後)		△1,742,055	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・施設維持管理委託 2,320,027円	決算額の主な内訳	・勝どきコミュニティルーム(建物) 3,052,137円 ・月島清澄通りコミュニティルーム(建物) 1,180,472円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・地域コミュニティルーム管理運営事業助成金 219,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	343,579	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	93,425,477	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	6,172,705	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	6,516,284	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	86,909,193	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	93,425,477	—	—
資産の部 合計	93,425,477	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・勝どきコミュニティルーム 82,407,711円 ・月島清澄通りコミュニティルーム 11,017,766円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

月島地域コミュニティルーム

名 称	開設年月	面積(m ²)
勝どきコミュニティルーム	平成7年12月	366.7
月島清澄通りコミュニティルーム	平成6年12月	145.26

4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費のうち施設の維持管理に係る委託料が92.2%を占めている。
・町会・自治会の自主管理のもと、町会の会合や行事をはじめさまざまな目的・用途で活用が図られており、町会・自治会活動の促進、地域コミュニティの醸成に寄与することができている。
・各コミュニティルーム施設(複合施設)の経年劣化が進む中、施設を管理している関係部署と施設状況の情報を共有し、適切な維持管理を図っていく必要がある。

② 今後の方向性

・施設の適切な現状把握とともに、改修経費を最小限に抑えながら、計画的かつ効果的に改修を行うことで、施設の良好な状態の維持、町会等さまざまな団体のコミュニティ活動の場の持続的な提供を図っていく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート		部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興		
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。		
関連する個別計画			

大事業	中事業1	地域文化活動の推進	中事業2		中事業3	
地域文化活動の推進事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・まるごとミュージアムは、区内を無料のバスや船で回遊しながら、民間事業者等が行う文化イベントに参加し、本区の文化的な魅力（名所・旧跡、画廊・美術館、水辺等）を楽しむ享受できる一日となるよう実施している。
・まちかど展示館は、地域住民自らが文化資源を展示・公開する施設等の運営を支援するとともに、新たな展示館を認定している。また、まちかど展示館運営協議会を中心に、観光・文化資源として活用していくための取組を推進している。
・東京国際合唱コンクールは、区民が世界基準の合唱文化に触れ、国際交流を深めることで、本区の文化振興および生涯学習意欲の向上をより一層推進するため実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

（単位：円）

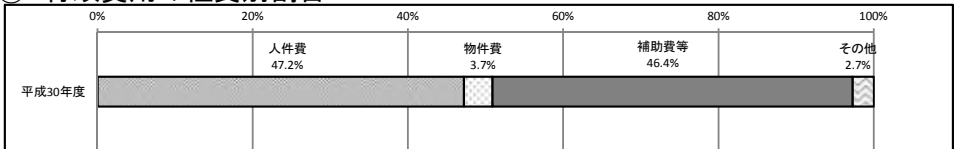
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	16,655,530	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	1,299,300	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	16,374,380	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	2,000,000	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	2,000,000	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	954,385	—	—	行政収支差額		△33,283,595	—	—
	その他	0	—	—	金融収支差額		0	—	—
小 計		35,283,595	—	—	通常収支差額		△33,283,595	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△23,931,791	—	—
特別収入		9,351,804	—	—	一般財源充当調整		35,853,797	—	—
特別収支差額		9,351,804	—	—	再計（一般財源調整後）		11,922,006	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	物件費
決算額の主な内訳	・まちかど展示館運営協議会補助金 8,776,180円 ・東京国際合唱コンクール負担金 4,000,000円	決算額の主な内訳	・東京国際合唱コンクール参加者記念品 707,400円 ・交流コンサート等会場使用料 89,100円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	その他（行政収入）	勘定科目	
決算額の主な内訳	・特別区全国連携関連事業費収入 2,000,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	954,385	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	17,146,402	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	18,100,787	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△18,100,787	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

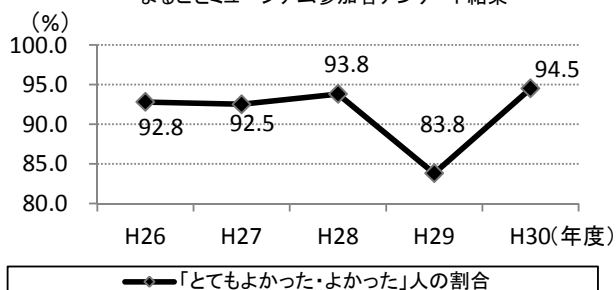
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

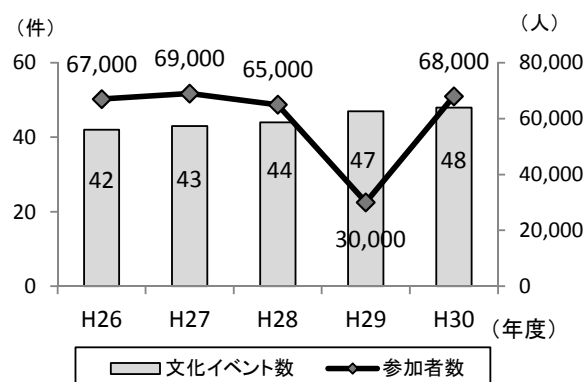
3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
まちかど展示館認定件数・助成件数(件・件)	26・19	—
東京国際合唱コンクール延入場者数(人) (チケット購入者数)	2,516	—

まるとミュージアム参加者アンケート結果



まるとミュージアム参加者数および文化イベント数の推移



※H29年度は、当日台風による荒天のため参加者数減

4 総括

① 現状・成果・課題

・行政費用のうち、補助費等が46.4%を占めており、そのうちまちかど展示館運営協議会補助金が53.6%を占めている。

・まるとミュージアムは、参加者から高い評価を得ており、イベントの実施目的を達成できた。今後は、さらに多くの参加者が本区の豊かな文化に触れ、楽しむことができるよう、魅力のある新規イベントの企画・実施や協力事業者の一層の確保に努める必要がある。

・「まちかど展示館」事業は、区民に対してスタンプラリー等を通じて地域の文化資源に触れる機会をつくり、地域への誇りや愛着心を育むことができています。しかし、区民や観光客等への認知度が十分でなく、展示館の少ない地域を中心に、新たな展示館を発掘・認定し、これを契機に季刊誌やウェブサイトも活用しつつ情報発信していくとともに、回遊性をさらに高める取組を進めていく必要がある。

・東京国際合唱コンクールに参加する海外合唱団が、区内の商業施設等において、無料で合唱を披露するまちかどコンサートを開催し、コンクールのPRを行うとともに、区民等が合唱に触れる機会を提供した。平成30年度からの新規事業であり、本区の恒例のイベントとして定着させるため、さらなる周知を行い認知度の向上を図る必要がある。

② 今後の方向性

・まるとミュージアムは、より多くの参加者が本区の文化的な魅力に親しめるよう、文化イベント数の拡充や内容の充実を図り、参加者の満足度向上につなげていく。

・「まちかど展示館」事業については、「まちかど展示館運営協議会」での意見を踏まえ、今後さらに増加が見込まれる外国人観光客に向けた情報発信を強化し、区の魅力ある伝統文化を世界に発信していく。また、新規認定館を増やし、本区の魅力発信を一層強化していく。

・東京国際合唱コンクールは、コンクールはもとより関連事業の拡充を図り、多くの区民に気軽にハイレベルな合唱を楽しめる機会を提供することで、地域に愛されるイベントとして定着させていく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート				部課名	教育委員会図書文化財課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち				
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興				
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。				
関連する個別計画					

大 事 業	中 事 業 1	郷土天文館の管理運営	中 事 業 2		中 事 業 3	
郷土天文館管理事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

- ・中央区の文化財や区内の遺跡から出土した遺物等を紹介する常設展示等を開催し、広く区民等に周知を図る。
- ・新たに登録・指定した区民文化財を紹介する企画展やテーマに沿った特別展等を開催し、区の魅力あふれる歴史や文化を伝える。
- ・プラネタリウムの学習投影を通じて、児童の理科や科学への興味を深める。さらに、生涯学習施設として区民等が知的探究心を満足させることができる空間として、また、エンターテイメント番組等の一般投影を行うことで、リラクゼーション空間としても活用を図る。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

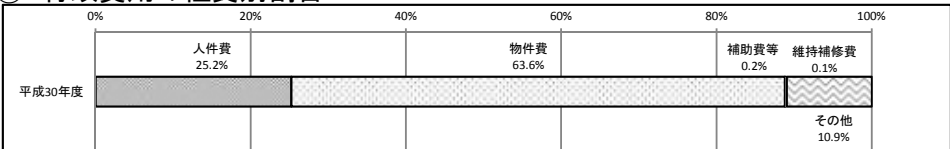
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	37,619,547	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	94,759,493	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	103,572	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	391,038	—	—
	補助費等	259,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	4,379,170	—	—
	減価償却費	14,778,336	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	4,770,208	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,537,323	—	—	行政収支差額				△144,287,063
	その他	0	—	—	金融収支差額				0
小 計		149,057,271	—	—	通常収支差額				△144,287,063
特別費用		0	—	—	当期収支差額				△144,287,063
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整				129,959,879
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)				△14,327,184

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	人件費
決算額の主な内訳	・受付業務およびプラネタリウム投影委託料 24,105,600円 ・所蔵品保管委託 10,360,550円 ・収蔵品データベース運用 9,526,788円	決算額の主な内訳	・郷土天文館非常勤職員報酬 25,525,399円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	減価償却費	勘定科目	使用料及び手数料
決算額の主な内訳	・郷土天文館(建物) 14,538,326円	決算額の主な内訳	・郷土天文館使用料 4,379,170円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

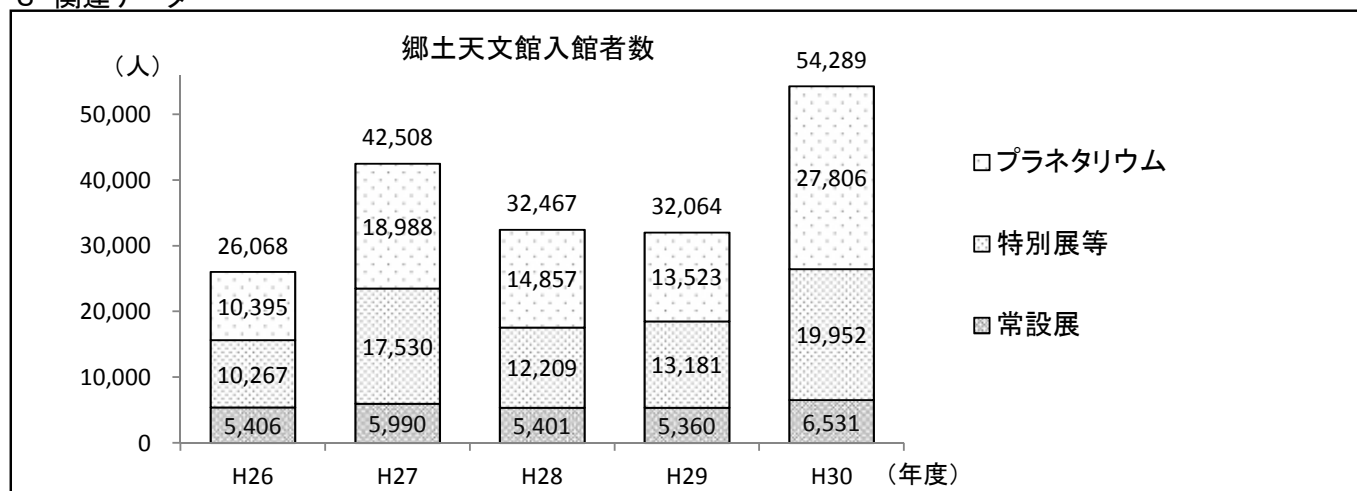
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	648,982	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	246,660,516	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	2,858,860	—	—	退職給与引当金	11,659,553	—	—
重要物品	32,200,003	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	12,308,535	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	269,410,844	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	281,719,379	—	—
資産の部 合計	281,719,379	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	建物	勘定科目	重要物品
決算額の主な内訳	・郷土天文館 246,660,516円	決算額の主な内訳	・江戸時代中央区模型ほか11件 32,200,003円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の主な内訳	・船員教育発祥の地記念碑ほか3件 2,858,860円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・収蔵資料を中心に展示している常設展示に加え、テーマ別の企画展を2回開催するとともに、他館からの借用資料の展示も含めて構成した特別展を開催した。今後も、本区に存在する豊富な文化遺産を有効に活用し、文化や歴史の魅力を多くの人に発信することで、文化財の保護・普及に努めていく必要がある。

・プラネタリウムにおいては、月1回実施していた「親子でプラネタリウム」の毎週実施や、リフレッシュプラネタリウムやヒーリングプラネタリウム等来館者のニーズに合わせた番組、人気の高いエンターテインメント番組の上映とともに、SNS等を活用した周知を強化した結果、前年度に比べ2倍強の入館者数となった。

・今後整備される「本の森ちゅうおう(仮称)」では、郷土資料館と図書館との併設というメリットをいかし、相互に連携しながら、区の歴史・文化への関心を高める効果的な展示・紹介を行っていく必要がある。

② 今後の方向性

・時流を捉えたテーマによる企画展・特別展の開催、常設展の展示内容の充実等、魅力ある展示を行うことで、区民等が直接文化財に触れる機会の充実を図るとともに、収蔵品アーカイブスにより、時間や場所を問わずより多くの文化財に触れる機会を提供することで、文化財の有効活用および文化財に対する理解の促進を図っていく。

・引き続き、多くの人が楽しめるプラネタリウム番組やイベントを実施するとともに、子どもたちの理科や科学、天体への興味・関心を高めていくため、小学校3・4年生の学習投影や幼稚園、保育園の利用を充実していく。

・「本の森ちゅうおう(仮称)」において、江戸以来の豊富な歴史・文化資料である郷土資料と地域資料を融合した展示や関連書籍の配架を行うなど、効果的に情報を発信し、文化財のさらなる活用を図っていく。また、館内に整備する郷土資料館(仮称)では、更新性の高い展示手法など、来館する多くの方が本区の歴史・文化に触れ、興味を喚起されるような展示の検討を進めていく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	教育委員会図書文化財課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-2	豊かな心を育む文化活動の振興		
施策の目標	・区民が文化に触れる機会や文化を発信していく場を拡充するとともに、多様な主体によりさまざまな文化を創造するための仕組みを構築し、区民が誇れる個性豊かな文化が育つ環境を整備していきます。 ・区内の有形・無形の文化遺産について調査を進め、文化的価値の高いものを区民文化財として指定・登録を行い、文化遺産の継承を図ります。また、文化財めぐり等の行事を通じて、文化財保護の重要性に対する啓発や歴史・文化遺産に対する意識の高揚を図ります。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	文 化 財 の 保 護	中 事 業 2		中 事 業 3	
文化財保護事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・中央区の文化財を登録・指定し、地域の歴史や文化に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次世代への継承を図る。 ・文化財説明板の設置や中央区の歴史・文化に関連するテーマを設定して、区民等を対象とした文化財めぐりを春と秋に実施することで、区内の文化遺産に対する愛着や理解を深め、その保護・普及を図る。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

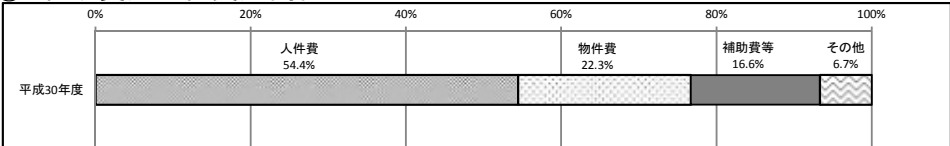
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	13,267,566	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	5,427,284	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	4,055,800	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	434,430	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	434,430	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,627,755	—	—		行政収支差額	△23,943,975	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	24,378,405	—	—		通常収支差額	△23,943,975	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△23,943,975	—	—
特別収入		0	—	—		一般財源充当調整	24,421,665	—	—
特別収支差額		0	—	—		再計(一般財源調整後)	477,690	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・マイクロフィルム撮影委託 1,330,560円 ・文化財説明板の設置、板面交換 1,029,000円 ・埋蔵文化財廃棄委託 600,000円	決算額の主な内訳	・収蔵品調査整理、講師謝礼等報償費 2,655,800円 ・中央区民文化財保護奨励金 1,400,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・有償刊行物販売 434,430円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

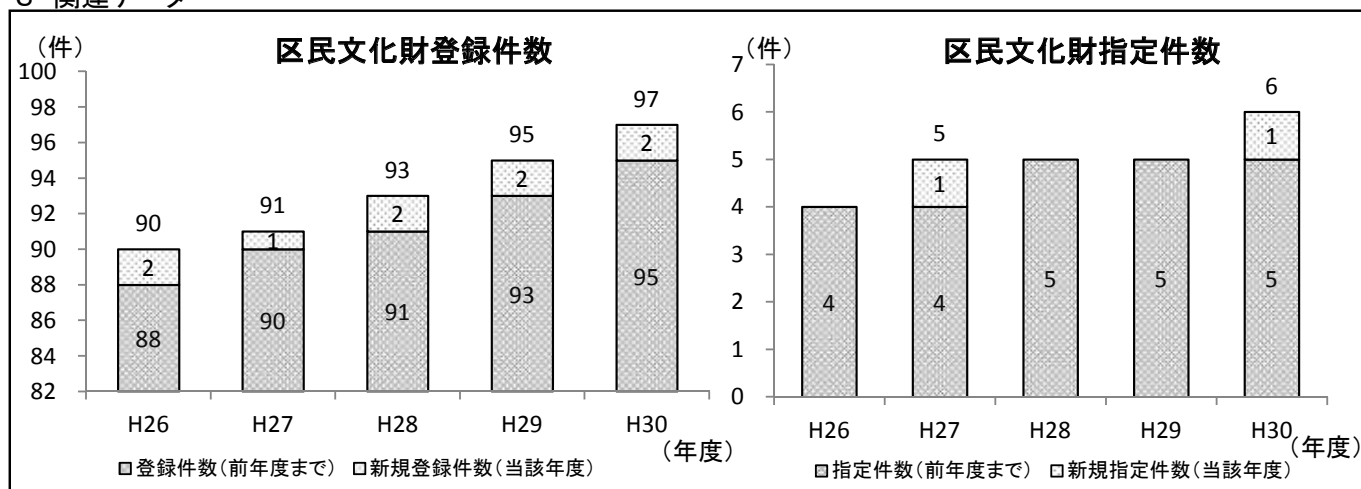
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	687,157	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	12,345,409	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	13,032,566	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△13,032,566	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

・区民文化財として、新たに2件登録、1件指定し広報紙や区ホームページ等で広く周知し、地域の文化や歴史に対する啓発、文化財の保護の重要性に係る意識の高揚や文化財の次代への継承に取り組んだ。(指定文化財6件、登録文化財97件)

・文化財説明板を新規設置(1カ所)および更新(3カ所)の際に、文化財の歴史的背景をより理解しやすくする工夫として、文字による解説のほか図版を付け加え、英語表記を追加したことで、区民のみならず外国人観光客の文化財に対する理解を深めることができた。

・文化財保護意識のさらなる普及・啓発を図るため、文化財の適切な管理と積極的な紹介をしていく必要がある。特に歴史的建造物は、老朽化に伴う維持管理費用の負担増等の理由により、その価値を棄損する恐れがある。

② 今後の方向性

・有形・無形の文化遺産について調査を進め、重要なものは所有者への働きかけや助言をするなど、区民文化財として登録・指定を促し適切に管理するとともに、広報紙や常設展示、区ホームページ等で幅広く公開し、保護意識の普及・啓発を図っていく。

・引き続き、文化財説明板の新設や更新の際に多言語表記を取り入れるなど、より多くの人に分かりやすい情報発信を行っていく。

・歴史的に価値がある建築物をまとめた「近代建築物100選」の映像資料の活用や、まち歩きの実施等により、本区の文化や歴史の魅力を積極的に発信し、観光振興等にも寄与できる施策に取り組んでいく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	都 市 間 交 流 の 推 進	中 事 業 2		中 事 業 3	
地域間交流の推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・異なる歴史や風土を持つ都市の個性を尊重し、学び合いながら、それぞれの都市の発展につなげるため各都市と交流している。特に、友好都市である山形県東根市とは、本区の児童が風土や文化を異にする都市との交流により互いの理解・友情を深め、豊かな心を育むための一助となるよう「中央区・東根市児童交歓会」を実施している。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

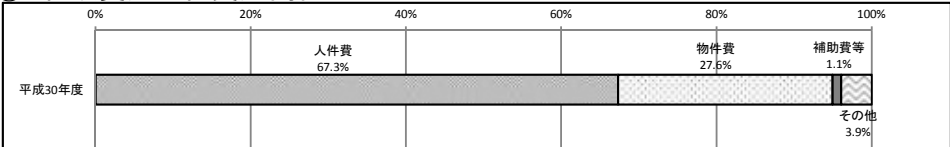
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	6,523,857	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	2,677,207	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	110,000	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	210,000	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	210,000	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	381,754	—	—		行政収支差額	△9,482,818	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	9,692,818	—	—		通常収支差額	△9,482,818	—	—
	特別費用	0	—	—		当期収支差額	△9,294,826	—	—
	特別収入	187,992	—	—		一般財源充当調整	10,310,779	—	—
	特別収支差額	187,992	—	—		再計(一般財源調整後)	1,015,953	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	補助費等
決算額の主な内訳	・「児童交歓会」参加者宿泊料等 1,226,100円 ・交流都市への訪問等旅費 335,642円 ・さくらんぼマラソン大会 Tシャツ・賞品 297,830円	決算額の主な内訳	・本栖湖神湖祭花火大会後援協賛金 100,000円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	その他(行政収入)	勘定科目	
決算額の主な内訳	・児童交歓会参加者負担金 210,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表 (単位:円)

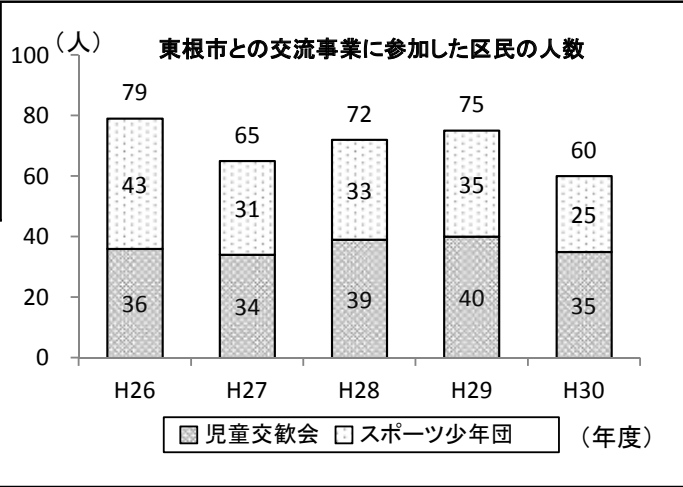
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	381,754	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	6,858,561	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	7,240,315	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△7,240,315	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
さくらんぼ種飛ばし大会参加者(人)	550	—
さくらんぼマラソン大会参加者(区民参加数)(人)	12,594 (35)	—
児童交歓会参加者(人・組)	35(19)	—
” 応募者数(人・組)	56(27)	—
スポーツ少年団交流参加者(人)	25	—



4 総括

① 現状・成果・課題

・「区のおしらせ 中央」において「友好都市・交流都市だより」として各都市の概要やイベント等を掲載することにより区民への周知を図ってきた。

・友好都市の東根市とは双方で実施されるマラソン大会に互いに賞品を提供するほか、江戸バスのラッピングにより区民への認知度向上を図るなど、関係を深めており、東根市が実施する「さくらんぼマラソン大会」や「さくらんぼ種飛ばし大会」等のイベントの参加を通じ、相互の住民同士間での交流活動が実施されている。

・区内で実施されるイベントでの特産品の販売等が、各交流都市の文化や特色に対する区民の理解を深める機会となり、交流都市の産業振興の一助となっている。

・児童交歓会については、本区受入時に実施していた東京湾大華火祭が平成28年度以降休止となったため、引き続き、参加者にとって魅力ある企画を構築し、提供する。また、参加者同士の自主的な交流を促進するための仕組みを検討・実施していく必要がある。

・物件費のうち児童交歓会の経費は、62.0%を占めており、隔年で訪問と受入れを行っていることから必要な経費が実施年度により異なっている。

② 今後の方向性

・既存の交流事業を継続的に実施することで、各交流都市との区民・市民間レベルの交流を促進するとともに、「特別区全国連携プロジェクト」等も含め、さまざまな機会を捉えながら、各都市・地域との連携を深めていく。

・児童交歓会については、参加者の意見を取り入れながら、参加者の思い出に残る企画を構築していく。また、本区の参加者同士の交流を図る事前交流会のほか、本区と東根市の参加者が事業終了後も交流を続けられるように、コミュニケーションを活性化するための工夫を行っていく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート		部課名	区民部地域振興課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち		
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり		
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。		
関連する個別計画			

大 事 業	中 事 業 1	平 和 事 業 の 推 進	中 事 業 2		中 事 業 3	
平和推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・中央区平和都市宣言(昭和63年3月15日告示)を記念して開始した「平和の都市の楽しい集い」の開催、当時を物語る写真や戦災資料を展示する「平和展」や「小・中学校巡回平和展」、日ごろから平和について考えるきっかけの場を提供するため、戦災に関する写真や資料を公開する「平和祈念バーチャルミュージアム」等の各種平和事業の実施を通じ、区民への平和意識の普及・啓発に努める。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

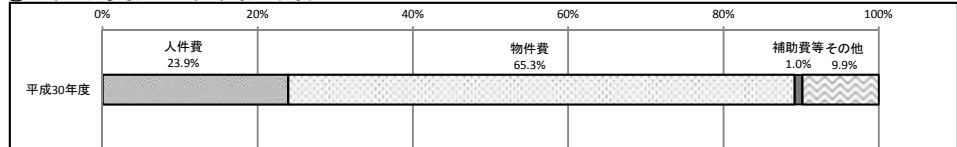
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,747,398	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	15,688,973	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	233,651	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	2,027,257	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	343,579	—	—		行政収支差額	△24,040,858	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
小 計		24,040,858	—	—		通常収支差額	△24,040,858	—	—
特別費用		0	—	—		当期収支差額	△21,668,973	—	—
特別収入		2,371,885	—	—		一般財源充当調整	22,882,840	—	—
特別収支差額		2,371,885	—	—		再計(一般財源調整後)	1,213,867	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・平和の都市の楽しい集い実施委託 9,163,800円 ・小・中学校巡回平和展、平和展実施委託 2,422,008円 ・平和祈念バーチャルミュージアム保守・管理委託 2,229,120円	決算額の主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 1,030,000円 ・平和の鐘 770,600円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 162,740円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	補助費等	勘定科目	
決算額の主な内訳	・平和祈念バーチャルミュージアム有識者謝礼 200,000円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

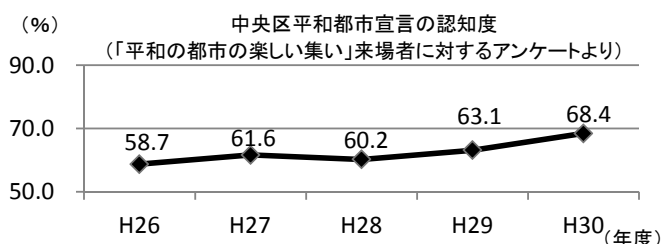
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	343,579	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	43,543,770	—	—	退職給与引当金	6,172,705	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	6,516,284	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	37,027,486	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	43,543,770	—	—
資産の部 合計	43,543,770	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目	工作物	勘定科目	
決算額の 主な内訳	・蛸殻町公園平和シンボル 23,690,000円 ・平和の鐘 15,412,000円 ・あかつき公園内平和都市宣言碑 3,580,280円	決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

項目	平成30年度	令和元年度
平和の都市の楽しい集い来場者数(人)	753	—
平和祈念バーチャルミュージアムアクセス数(件)	5,375	—
平和資料(写真)保存数累計(枚)	334	—
平和資料(物品)保存数累計(点)	267	—



○各事業のアンケートの意見(抜粋)

【平和の都市の楽しい集い】すばらしい演奏会でした。平和だからこそ、このような音楽を楽しむことができるのだと感謝しています。1941年～45年の戦争を体験しているので、平和であることの大切さをいつも思っています。

【平和展】だんだん戦争を知っている世代がいなくなっているが、これらの苦しい時代を引き継いでいく必要性を感じた。次年度以降も「中央区平和展」を続けてほしい。

【巡回平和展】(児童・生徒)展示を見て改めて戦争はよくない事だと思った。戦争で亡くなった多くの人を思うと『平和』がなによりも大切だと感じた。(教員)1年に1回の巡回平和展。DVDでは身近な地名が出てくるので、興味を持って、観ている子が多かった。戦争のこと、今平和な社会に生きていることを再認識できるので、ありがたいと思っています。

4 総括

① 現状・成果・課題

・物件費における委託料が94.4%を占めており、平和の都市の楽しい集いや平和展の開催等、平和事業の推進については民間企業の協力が必要不可欠である。

・当時を物語る写真や戦災資料を公開展示する「平和展」を平成24年度以降、隔年開催から毎年開催とするとともに、平和祈念バーチャルミュージアムにおいて毎年新しいコンテンツを追加するなど、平和事業の充実を図り、平和意識の普及・啓発に努めている。

・各種平和事業の実施により、中央区平和都市宣言の認知度は比較的高い水準で推移しているが、戦後70年以上の歳月が経過し、戦争の記憶を後世に伝えることがますます難しくなる中、引き続き平和意識の普及・啓発を行う必要がある。

② 今後の方向性

・悲惨な戦争の記憶の風化が懸念される中、今後も平和に関する資料の収集・保存を進めるとともに、平和の大切さ、尊さを見つめ直す機会を提供し、平和に関する普及・啓発事業を持続的に展開していく。

令和元年度（平成30年度分） 事業別行政評価シート			部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり			
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。			
関連する個別計画				

大 事 業	中 事 業 1	国際交流の推進	中 事 業 2		中 事 業 3	
国際交流の推進事業	中 事 業 4		中 事 業 5		中 事 業 6	
	中 事 業 7		中 事 業 8		中 事 業 9	
	中 事 業 10		中 事 業 11		中 事 業 12	
	中 事 業 13		中 事 業 14		中 事 業 15	
	中 事 業 16		中 事 業 17		中 事 業 18	

1 事業の目的

・姉妹都市との交流や異文化とのふれあいを通して区民の国際意識の向上と国際都市にふさわしい文化を育む。
また、外国人向けの情報の充実や区民が主体となって行う国際交流事業を通じ、外国人区民が地域の文化や習慣に親しめる暮らしやすいまちにする。

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

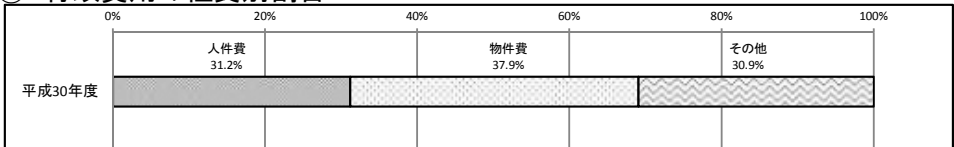
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	5,111,816	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	6,208,158	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支支出金	0	—	—
	補助費等	0	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	0	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	5,068,221	—	—		行政収支差額	△16,388,195	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	16,388,195	—	—		通常収支差額	△16,388,195	—	—
	特別費用	0	—	—		当期収支差額	△16,388,195	—	—
	特別収入	0	—	—		一般財源充当調整	11,319,974	—	—
	特別収支差額	0	—	—		再計(一般財源調整後)	△5,068,221	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・通訳・翻訳に係る人材派遣 3,190,725円 ・外国人向けガイドブックの作成 2,258,280円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の主な内訳		決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

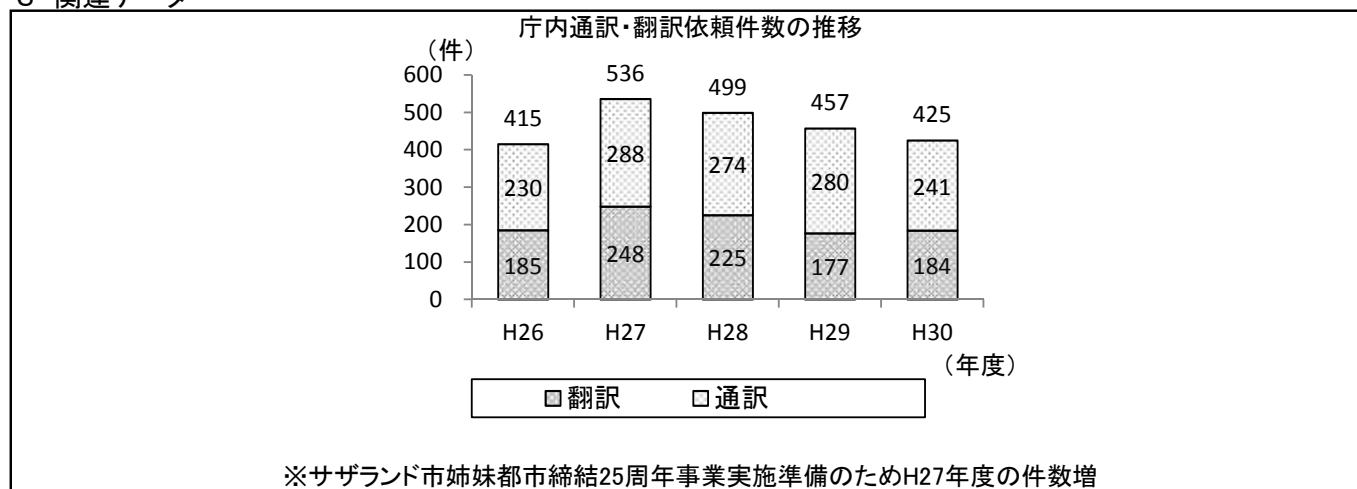
勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	267,228	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	4,800,993	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	5,068,221	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△5,068,221	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ



4 総括

① 現状・成果・課題

- ・行政費用のうち、物件費が37.9%を占めており、そのうち通訳・翻訳に係る人材派遣に要する費用が51.4%を占めている。
- ・姉妹都市であるオーストラリアのサザランド市と5年に1度、周年行事として代表団による訪問と受け入れを行っている。
- ・外国人からの各種相談は、戸籍や保険、子育てについてのほか、個人の身辺相談等多岐にわたっており、窓口で対応する職員と通訳担当と連携しながら、迅速な対応を行っている。今後は、区内を訪れる観光客や外国人区民数の増加による相談内容の多様化・複雑化が見込まれる。
- ・外国語版区勢要覧と生活ガイドブックについて、区内の町丁名や区施設名等の英語翻訳を「中央区多言語表記指針」に基づいて行うことや、日本語のタイトル部分にふりがなを付けることにより正確性、利便性の向上を図るなど、記載内容を更新して発行し(3年ごと直近は平成30年度)、転入時に配布するなどして積極的な活用を促している。

② 今後の方向性

- ・増加する外国人区民の多様なニーズにきめ細かく対応できるよう、中央区文化・国際交流振興協会に登録している通訳・翻訳ボランティアとのさらなる連携について検討していく。
- ・外国人区民が日常生活に役立てられる行政サービスについて、さまざまな機会を捉えて把握に努め、都度、外国語版区勢要覧や生活ガイドブックに反映させていく。

令和元年度(平成30年度分) 事業別行政評価シート			部課名	区民部文化・生涯学習課
基本政策9	人々のつながりが広がる文化の香りと平和に包まれたまち			
施策9-3	国や地域を越えた交流が深まり多様な価値観が共生するまちづくり			
施策の目標	・友好・姉妹都市をはじめとした国内外の諸都市との交流の機会を通じて、さまざまな文化や生活の相互理解を深めます。また、区に暮らす人、区を訪れる人すべての人々にとって活動しやすい環境を整えることで、区民との活発な交流を促進します。 ・区民一人一人が戦争の悲惨さや平和の大切さ、尊さを理解し、再認識できる機会を設けていくとともに、あらゆる施策を通じて平和意識の普及・啓発に努めていきます。			
関連する個別計画				

大事業	中事業1	「中央区文化・国際交流振興協会」助成	中事業2		中事業3	
「中央区文化・国際交流振興協会」助成事業	中事業4		中事業5		中事業6	
	中事業7		中事業8		中事業9	
	中事業10		中事業11		中事業12	
	中事業13		中事業14		中事業15	
	中事業16		中事業17		中事業18	

1 事業の目的

・本区で生活する人々が主体的に文化活動や国際交流を進め、人間性豊かで住みやすく、楽しく、誇れるまちにしていくなために設立された中央区文化・国際交流振興協会(以下、「協会」という。)に対して、その円滑な事業運営を図るために助成を行う。
--

2 財務情報

① 行政コスト計算書

(単位:円)

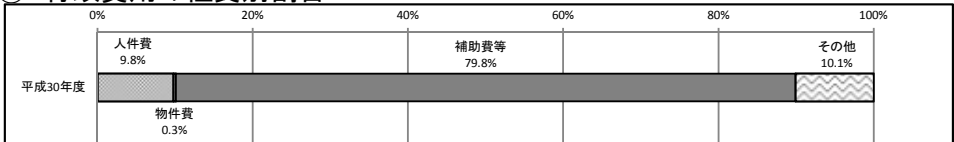
勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目		平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政費用	人件費	11,684,149	—	—	行政収入	地方区税	0	—	—
	物件費	372,409	—	—		特別区財政調整交付金	0	—	—
	維持補修費	0	—	—		国庫支出金	0	—	—
	扶助費	0	—	—		都支出金	0	—	—
	補助費等	95,429,922	—	—		分担金及び負担金	0	—	—
	投資的経費	0	—	—		使用料及び手数料	0	—	—
	減価償却費	451,392	—	—		その他	0	—	—
	不納欠損引当金繰入額・貸倒引当金繰入額	0	—	—		小 計	0	—	—
	賞与・退職給与引当金繰入額	11,584,504	—	—		行政収支差額	△119,522,376	—	—
	その他	0	—	—		金融収支差額	0	—	—
	小 計	119,522,376	—	—		通常収支差額	△119,522,376	—	—
特別費用		0	—	—	当期収支差額		△119,522,376	—	—
特別収入		0	—	—	一般財源充当調整		107,486,480	—	—
特別収支差額		0	—	—	再計(一般財源調整後)		△12,035,896	—	—

② 決算額の主な内訳

勘定科目	補助費等	勘定科目	減価償却費
決算額の主な内訳	・協会助成 95,429,922円	決算額の主な内訳	・新富分庁舎(協会分) 451,392円
主な増減理由	—	主な増減理由	—

勘定科目	物件費	勘定科目	
決算額の主な内訳	・光熱水費、施設管理等 344,834円	決算額の主な内訳	
主な増減理由	—	主な増減理由	—

③ 行政費用の性質別割合



④ 貸借対照表

(単位:円)

勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
流動資産				流動負債			
収入未済	0	—	—	還付未済金	0	—	—
不納欠損引当金	0	—	—	特別区債	0	—	—
その他	0	—	—	賞与引当金	610,807	—	—
固定資産				その他	0	—	—
土地	0	—	—	固定負債			
建物	0	—	—	特別区債	0	—	—
工作物	0	—	—	退職給与引当金	10,973,697	—	—
重要物品	0	—	—	その他	0	—	—
インフラ資産	0	—	—	負債の部合計	11,584,504	—	—
建設仮勘定	0	—	—	正味財産の部合計	△11,584,504	—	—
その他	0	—	—	負債・正味財産の部合計	0	—	—
資産の部 合計	0	—	—				

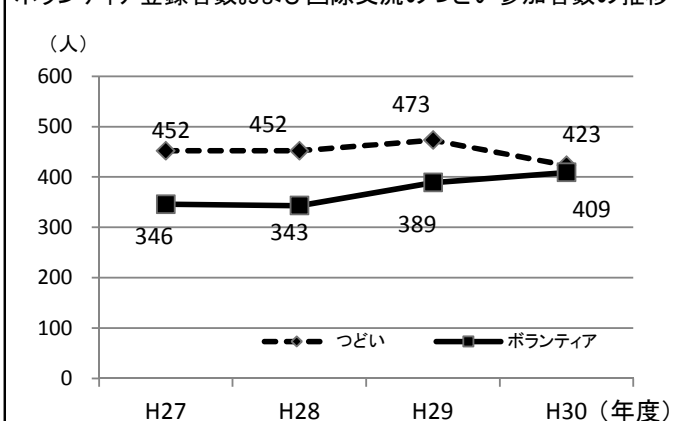
⑤ 決算額の主な内訳

勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

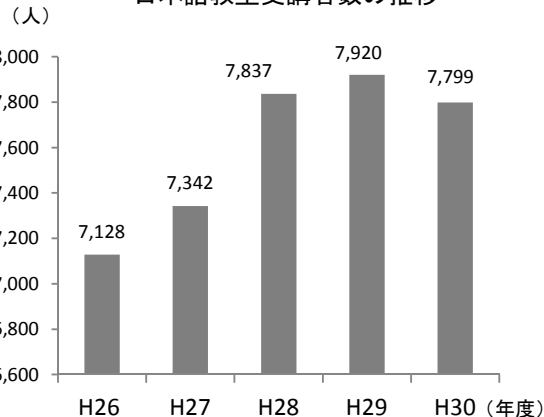
勘定科目		勘定科目	
決算額の 主な内訳		決算額の 主な内訳	
主な 増減理由	—	主な 増減理由	—

3 関連データ

ボランティア登録者数および国際交流のつどい参加者数の推移



日本語教室受講者数の推移



4 総括

① 現状・成果・課題

・行政費用のうち、協会助成を含む負担金補助および交付金からなる補助費等が79.8%を占めている。
 ・文化振興事業については、各種文化事業(古典芸能鑑賞会やコンサート等)の開催や文化事業への助成・後援等により、区民が文化に触れる機会の充実や区民主体で行われる文化活動を支援している。
 ・国際交流振興事業については、「国際交流のつどい」や「国際交流サロン」等の開催により、異文化理解・相互理解を促進しているが、「日本語教室」においては、参加者の増加に対応し、さらなる事業運営を可能とする場の確保が必要となっている。
 ・協会登録のボランティアの数は、増加傾向にある。今後は、多様化する要望に対応できるよう、区の各種相談業務への活用をはじめとする活動場所の拡大や一人一人のスキルアップ等への活動支援を引き続き強化していく必要がある。

② 今後の方向性

・各種文化事業の一層の充実や継続的な活動への支援を行い、区民が文化に触れる機会の充実を図っていく。
 ・協会が実施する「日本語教室」をはじめとする国際交流事業について、参加希望者の増加に対応するとともに安定的な開催が可能となるよう、会場の確保に向けた検討を進めるなど、外国人区民を対象とする各種国際交流事業の充実に努める。
 ・協会に登録している通訳・翻訳ボランティア等が安全かつ多様な分野で活躍できるような仕組みづくりを検討していく。

